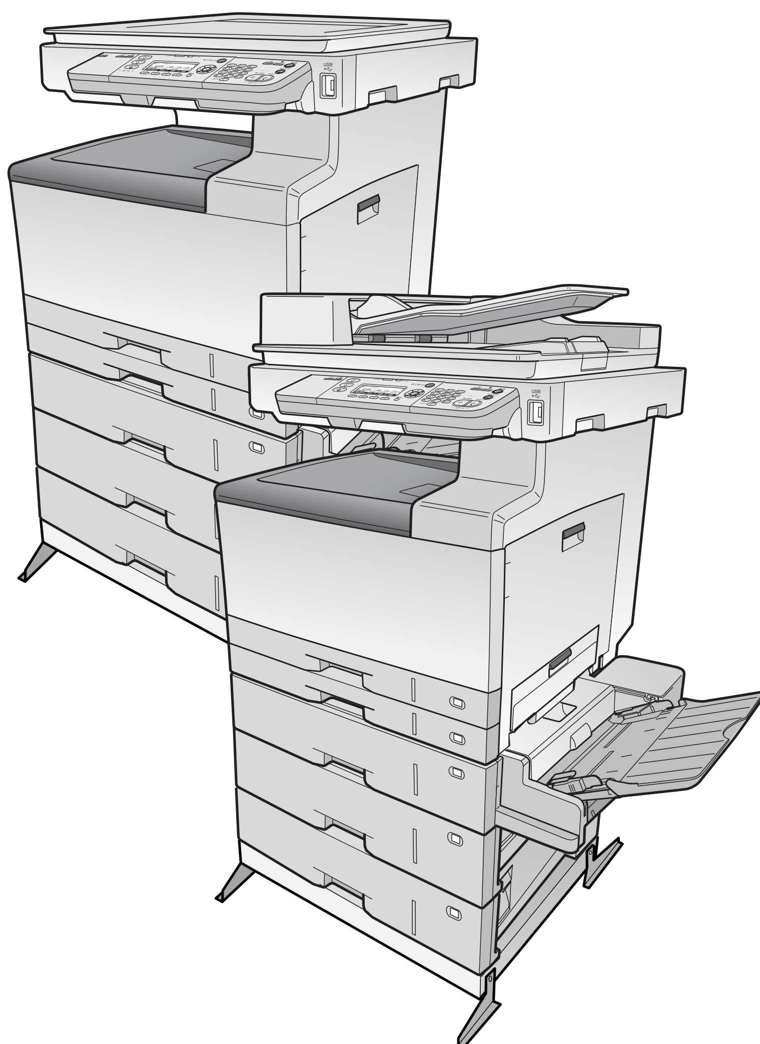
EPSON
EXCEED YOUR VISION

LP-M6000シリーズ
取扱説明書1
セットアップ編

- 本書は、LP-M6000 シリーズの取扱説明書です。本製品を使用可能な状態にするための準備作業と使い方の概要を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。



マークの意味

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

ハガキの表記

本書では、郵便事業株式会社製のハガキを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 面連刷ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows Server 2003」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3 ～ v10.4
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

モデル名の表記とイラスト

- 本書では、本製品の製品名を下記のように表記しています。
  LP-M6000　：標準モデル
  LP-M6000A　：ADF モデル
  LP-M6000F　：ファクスモデル
- 本書では、LP-M6000A のイラストを使用して各種手順を説明しています。

商標

EPSON ESC/Page、ESC/P、トラブル解決アシスタントはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in Part on the work of the Independent JPEG Group.
Mac OS、Bonjour、ColorSync および TureType は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

製品をお使いいただく前に

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
分解禁止を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。	アース接続して使用することを示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	高温による傷害の可能性を示しています。
指が挟まれることによって起こる傷害の可能性を示しています。	

設置上のご注意

⚠警告



本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
また、取扱説明書で指示された設置スペースを確保してください。
☞ 本書 33 ページ「設置スペース」

⚠注意



不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。



油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。



本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。



本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
開梱や移動の際は 3 人以上で運んでください。
本製品の質量は以下を参照してください。
☞『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「仕様」



本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
☞ 本書 12 ページ「本製品の持ち方」



本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。



本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。



増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセット、プリンタ台、キャビネットは必ず設置可能な組合せで使用してください。
転倒などによる事故のおそれがあります。



本製品またはオプションに付属の転倒防止部材（転倒防止脚、固定金具、転倒防止金具）は取り付け手順を確認の上、必ず取り付けてください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

取り扱い上のご注意

⚠警 告	
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。	**異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。 安全装置が損傷し、定着ユニットの異常加熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。	**お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。**
本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。	**各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。** 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。
製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。	**開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
液晶パネルのディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 • 目に入ったときは、きれいな水で最低15分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 • 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。	

⚠注意



本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。



各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。



本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。



電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。



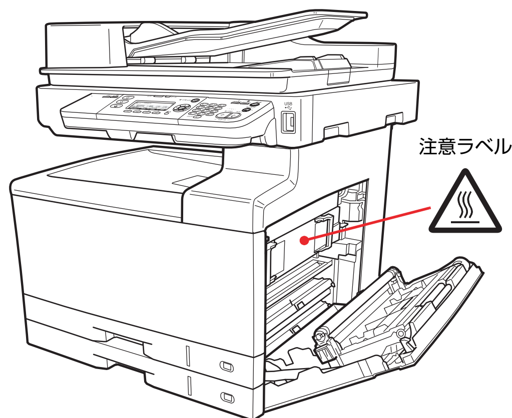
詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。



本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
トナーが漏れるおそれがあります。



使用中にプリンタ部のカバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、カバー B を開けた状態で 15 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。





下記のような条件を避けて使用してください。
本製品の排気には、人体に影響を与えるような物性は含まれておりませんが、お使いの環境条件によっては、排気臭を不快に感じることがあります。

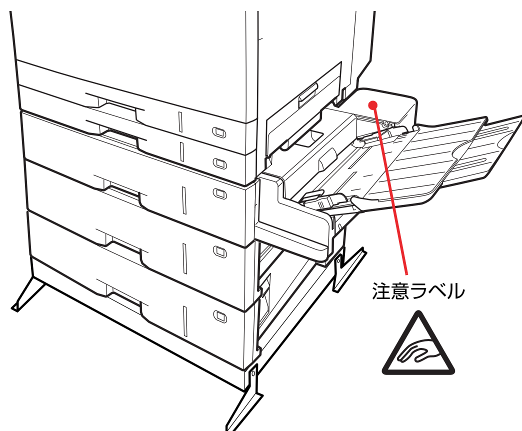
- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働



紙詰まりの状態で放置しないでください。
定着ユニットが加熱し、発煙・発火による火災のおそれがあります。

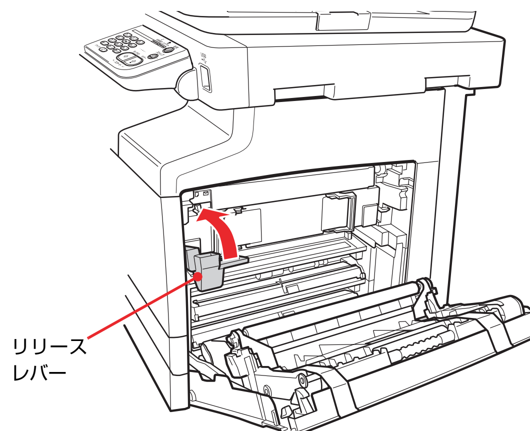


J カバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。





リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。



電気に関するご注意

⚠警告	
AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。	**付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
電源コードのたこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。	**本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。 アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを65cm以上地中に埋めたもの • 接地工事（第3種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。	**次のような場所にアース線を接続しないでください。** • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

⚠注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品 / ユーザー交換可能な定期交換部品に関するご注意

⚠警告	
 **消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）、ユーザー交換可能な定期交換部品（転写ユニット）を、火の中に入れないでください。** トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。	 **こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。** こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などでふき取ってください。

⚠注意	
 **消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）、ユーザー交換可能な定期交換部品（転写ユニット、定着ユニット）は、子供の手の届かない場所に保管してください。** 取り扱いを誤ってけがをしたり、トナーが漏れるおそれがあります。	 **印刷用紙の端を手でこすらないでください。** 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。
 **こぼれたトナーを吸引したり、皮膚に触れないようにしてください。** トナーは人体に無害ですが、処理時にはマスクや手袋を着用してください。	 **消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）、ユーザー交換可能な定期交換部品（転写ユニット）を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。** トナーがこぼれて、プリンタの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。
 **トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。** • 皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。 • 衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。 • 目に入ったときは、水でよく洗い流してください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出してください。吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。	

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償いたしかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、USB フラッシュメモリ内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

メモリカードを譲渡 / 廃棄するときは

メモリカード（USB フラッシュメモリを含む）を譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードを物理的に破壊することもお勧めします。

本製品を譲渡 / 廃棄するときは

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。

消去方法は以下を参照してください。

☞『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）「本製品のリセット」

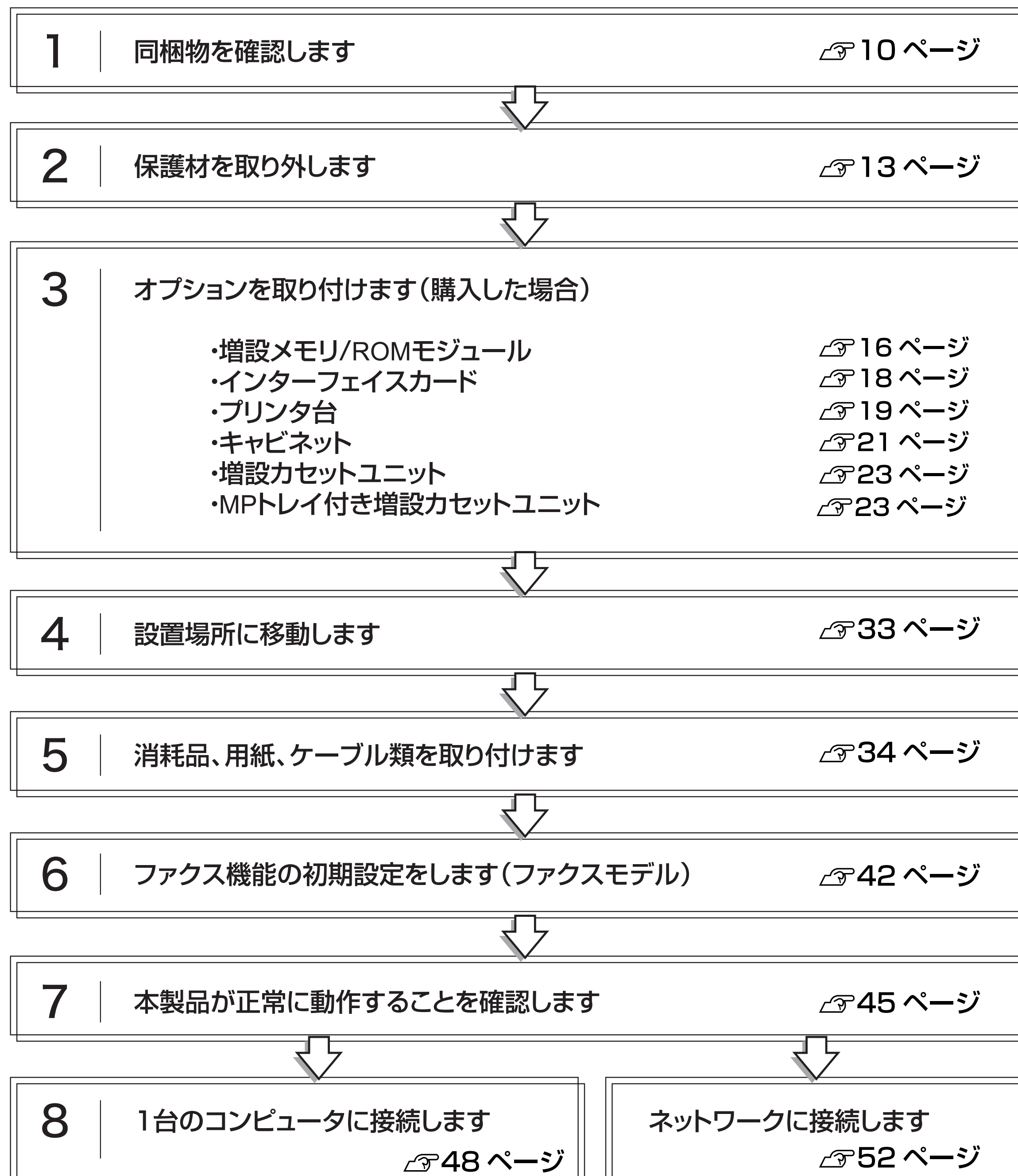
一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

セットアップ

本製品を使用可能にするための準備作業を説明しています。

セットアップの流れ

本製品を使用可能な状態にするまでの手順を掲載しています。本書の手順に従ってセットアップしてください。本製品の使用にあたっては、本書 2 ページに掲載されている「安全上のご注意」を必ずお読みください。

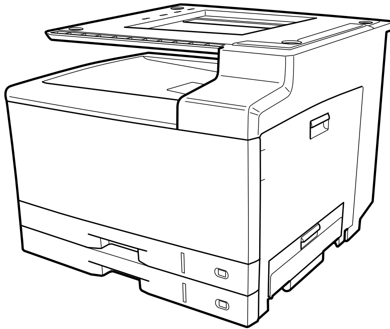


同梱物の確認

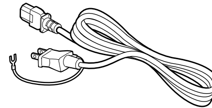
プリンタ部とスキャナ部、付属品が梱包されているスタータキットの 3 箱で構成されています。次のものがそろっていること、それぞれに損傷がないことを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プリンタ部

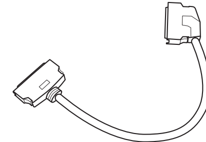
□プリンタ



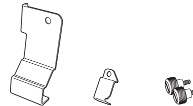
□電源コード



□専用ケーブル



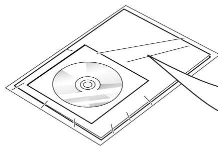
□転倒防止金具（大 1 個、小 1 個、ネジ 2 本）



□番号ラベル



□ドキュメントセット



取扱説明書（2 冊）	• 取扱説明書 1　セットアップ編（本書） • 取扱説明書 2　使い方編
CD-ROM（1 枚）	• EPSON ソフトウェア CD-ROM：以下のものが収録されています。 各種ソフトウェア / フォント（バーコード、TrueType） 取扱説明書 3　ソフトウェア編（電子マニュアル） 取扱説明書 4　ユーザー認証編（電子マニュアル） 取扱説明書 5　ネットワーク編（電子マニュアル）など
DocumentStorage パック	• ご利用のご案内（シート） • CD-ROM（1 枚） • ご愛用者登録カード（ライセンスキー付き）

＊ 上記同梱物の他に、各種ご案内や試供品が同梱されていることがありますのでご了承ください。

次ページへ続きます。

スキャナ部

□スキャナ（ファクスモデル /ADF モデル） □予備用ワンタッチキーシート（2 枚　ファクスモデルのみ） 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12	□スキャナ（標準モデル）

スタータキット

□トナーカートリッジ（4 本）
ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）

スタータキットに同梱されているトナーカートリッジの印刷寿命は各色約 2000 ページ（A4 サイズの用紙に面積比で約 5%の印刷を連続して行った場合）です。

□感光体ユニット
ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）

取扱説明書のご紹介

取扱説明書 1 セットアップ編（本書）	開梱してから本製品を使えるようにするまでの手順、セットアップがうまくできないときの対処法を掲載しています。
取扱説明書 2 使い方編（別冊）	本製品の操作パネルからコピー、ファクス、スキャンする方法や、メンテナンス、トラブル対処法などを掲載しています。
取扱説明書 3 ソフトウェア編（電子マニュアル）	ソフトウェアを使用して、印刷、スキャンする方法を掲載しています。プリンタドライバなどのソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。
取扱説明書 4 ユーザー認証編（電子マニュアル）	オプションのネットワークインターフェイスカードとオプションのソフトウェア Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP と、市販の認証装置を組み合わせて、ユーザー認証コピーやユーザー認証スキャンを実現するための方法を掲載しています。プリンタドライバなどのソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。
取扱説明書 5 ネットワーク編（電子マニュアル）	ネットワークソフトウェアの使用方法などを掲載しています。プリンタドライバなどのソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。

本製品の持ち方

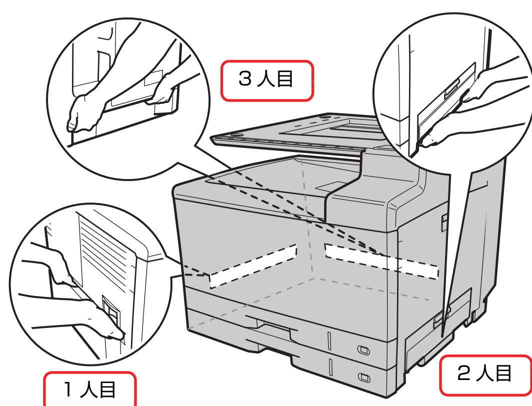
作業時には以下の点に注意してください。

⚠注意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は 3 人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

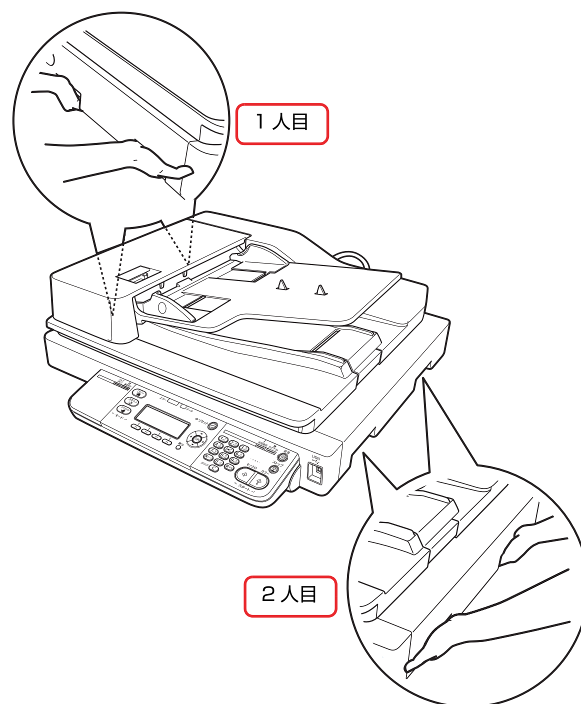
プリンタ部

必ず 3 人で持ち上げてください。図のように取っ手に手を掛けて運んでください。



スキャナ部

必ず 2 人で持ち上げてください。図のように取っ手に手を掛けて運んでください。



以上で終了です。

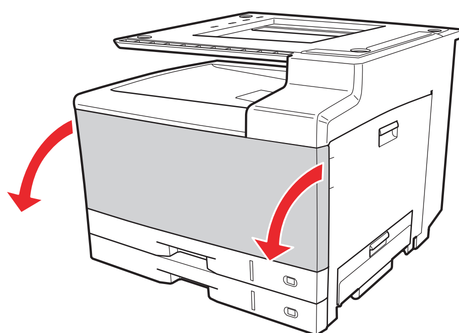
保護材の取り外し

本製品を設置する前に、プリンタ部とスキャナ部の保護材を取り外してください。なお、保護材の形状や個数、貼付場所などは予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

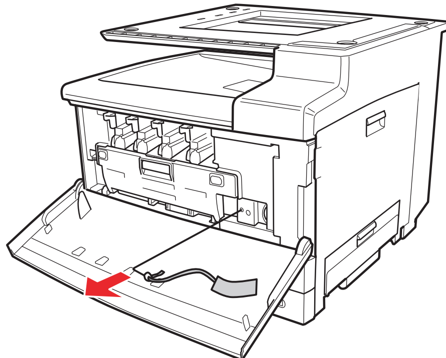
> **！重要**
> テープや保護材を外さないまま電源を入れると故障の原因となります。

プリンタ部

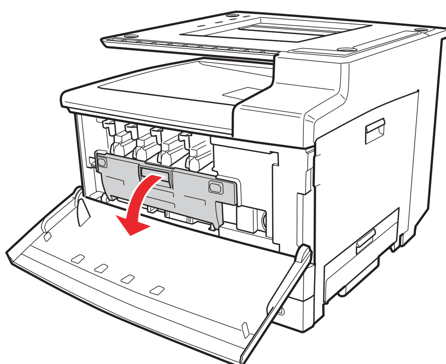
1 カバー A を開けます。



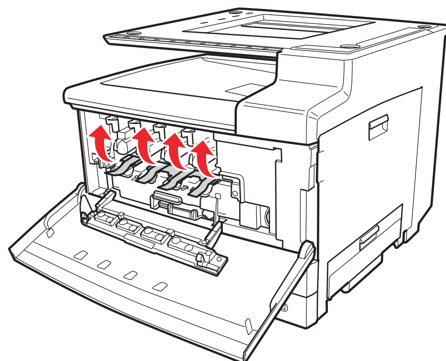
2 タグが付いている保護具（針金）を引き抜きます。



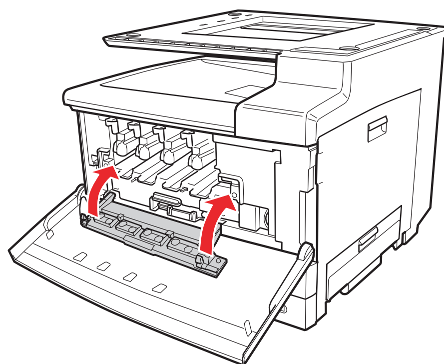
3 カバー H を開けます。



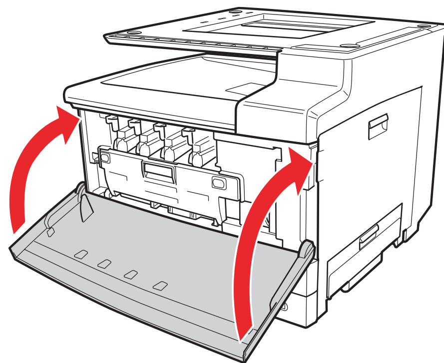
4 挿入口内部のテープと保護材を取り外します。



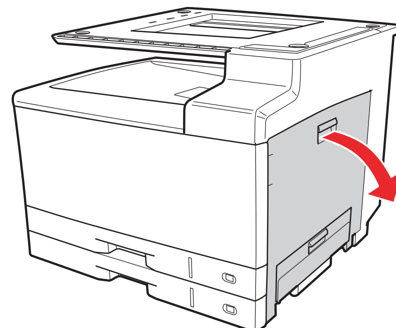
5 カバー H を起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。



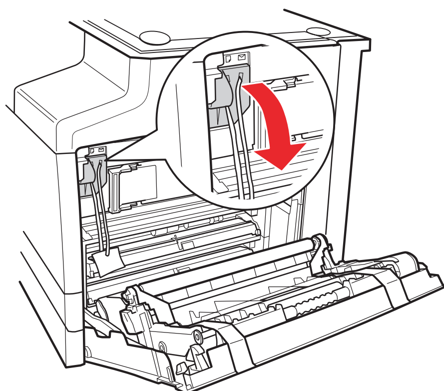
6 カバー A を閉じます。



7 カバー B を開けます。



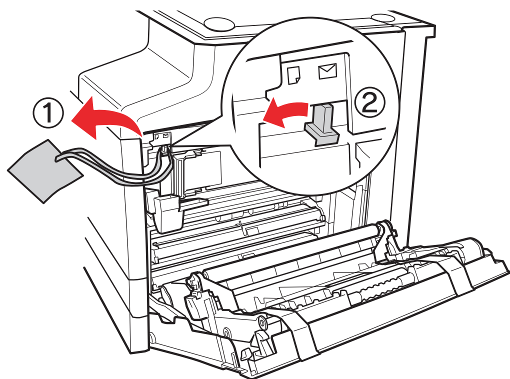
8 緑色のリリースレバーを下げます。



！重要

リリースレバーは、左側のラベルの「リリースレバー解除位置」まで下げてください。リリースレバーを途中までしか下げずに封筒レバーを無理に動かすと、封筒レバーが破損するおそれがあります。

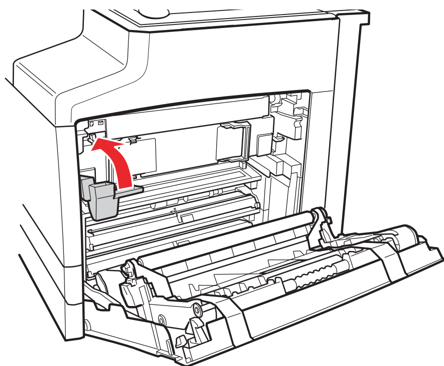
9 タグを取り外し、封筒レバーを普通紙の位置（左）に合わせます。



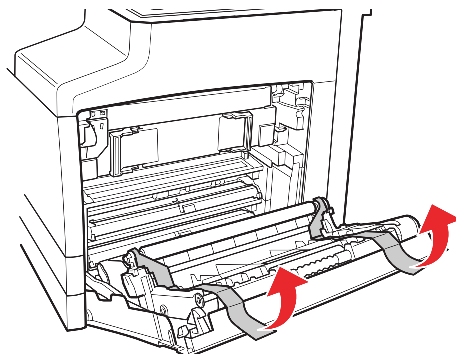
10 緑色のリリースレバーを元に戻します。

⚠注意

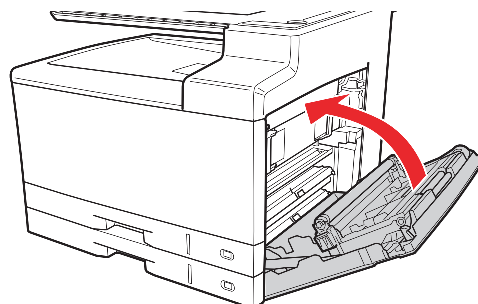
リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。



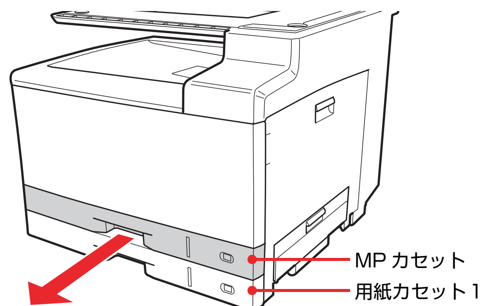
11 転写ローラの左右の保護材を取り外します。



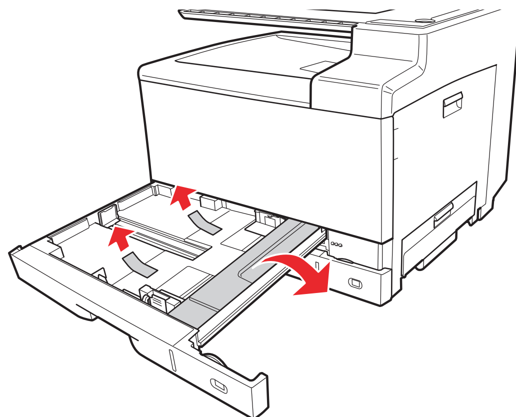
12 カバー B を閉じます。



13 MP カセットを引き出します。



14 MP カセット内部のテープと保護材を取り外します。



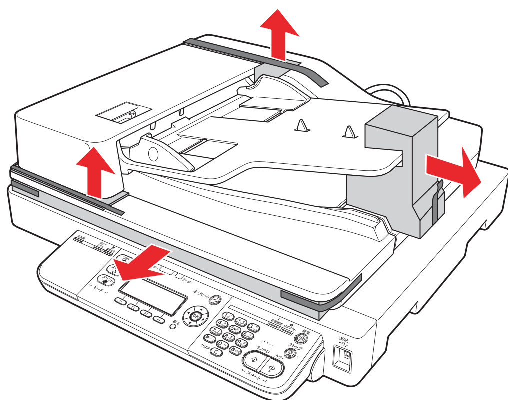
15 13～14と同様の手順で、用紙カセット 1 のテープと保護材も取り外します。

以上で終了です。

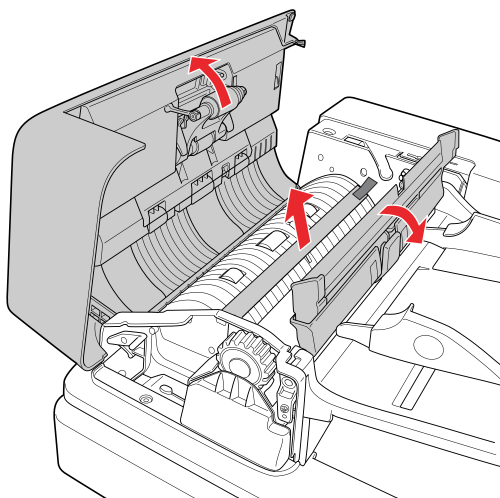
スキャナ部

1 **スキャナに貼ってあるテープや保護材をすべて取り外します。**

標準モデルに保護材はありません。テープをはがしたら手順 3 へ進みます。

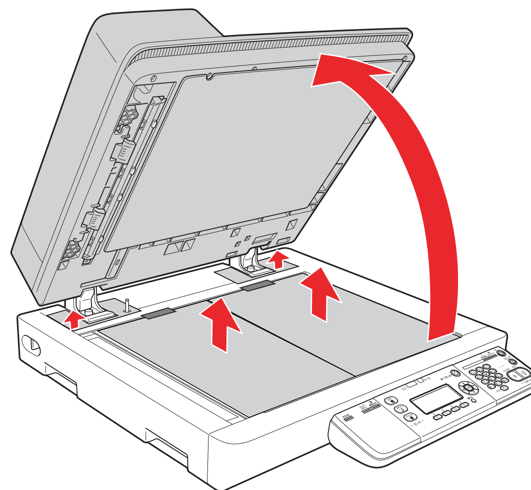


2 **ファクスモデル /ADF モデルの場合は、オートドキュメントフィーダカバーと内部の開閉カバーを開けて、テープや保護材をすべて取り外します。**



> **!重要**
>
> オートドキュメントフィーダの内部にある透明シートには触れないでください。コピー品質の悪化や紙詰まりの原因になります。

3 **原稿カバーを開けて保護材（紙）を取り外します。**



以上で終了です。

続いてプリンタ部のオプションを取り付けます。

オプションを取り付けない場合は、本製品を設置場所に移動します。

本書 33 ページ「設置」

プリンタ部オプションの取り付け

オプションは、最初にまとめてプリンタ部に取り付けてください。プラスドライバまたはコインを使用しますので、あらかじめ用意してください。

オプションに損傷のないことを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

すでに本製品を使用中でオプションを追加する場合は、取り付け後、プリンタドライバでオプションの設定をしてください。
☞ 本書32ページ「プリンタドライバでオプション設定」

またメモリ /ROM モジュール以外のオプションを取り付けるときは、スキャナ部を取り外し、プリンタ部のみにしてから作業をしてください。

オプションを取り付けない場合は、以下のページに進んでください。
☞ 本書 33 ページ「設置」

> ⚠警 告
>
> 取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
> 安全装置が損傷し、定着ユニットの異常加熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。

> ⚠注 意
>
> - 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
>   無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
> - 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
>   開梱や移動の際は 3 人以上で運んでください。
>   本製品の質量は以下を参照してください。
>   ☞『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「仕様」
> - 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
>   他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
>   本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
>   ☞ 本書 12 ページ「本製品の持ち方」
> - 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
>   転倒などによる事故のおそれがあります。

増設メモリ /ROM モジュール

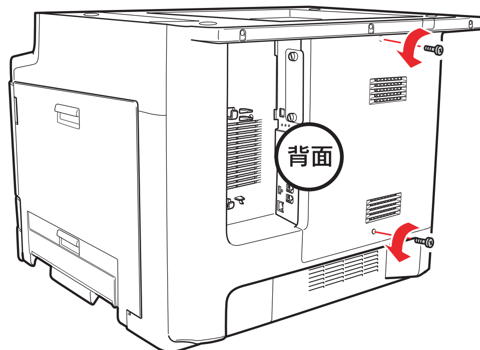
増設メモリ /ROM モジュールを取り付ける手順を説明します。

> ⚠警 告
>
> 製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
> 感電や火傷のおそれがあります。

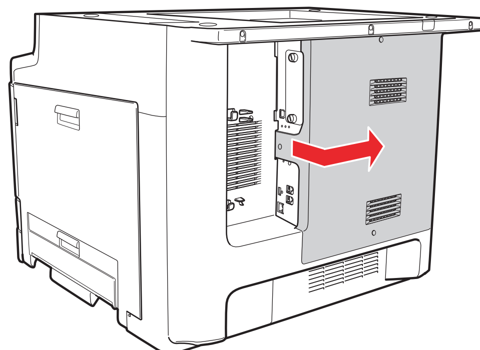
> **！重 要**
>
> - 静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。
> - 取り付ける部品（増設メモリ /ROM モジュール）は慎重に取り扱ってください。必要以上に力をかけると、部品を損傷するおそれがあります。
> - ROM モジュールには、フォームオーバーレイモジュールと PostScript モジュールがあります。ROM モジュールソケットが 1 つしかないため、同時使用はできません。ROM モジュールを交換して使用してください。

1　本製品の電源が入っているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

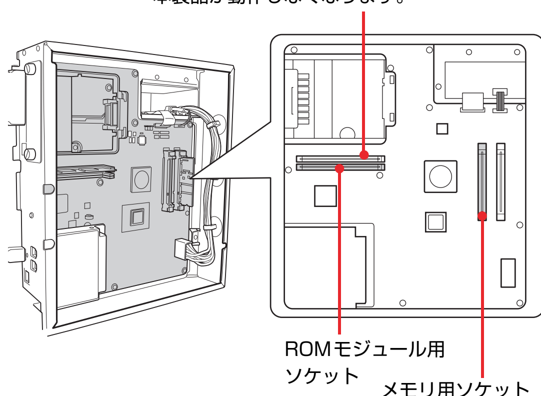
2　本製品背面のネジ（2本）を外します。



3　カバーの左側を手前に開いてから取り外します。



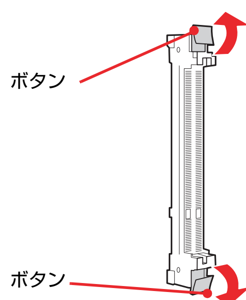
4 装着位置を確認します。



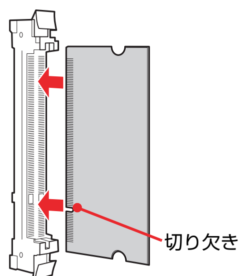
5 メモリ、ROM モジュールを取り付けます。

メモリの場合

ソケット両端の黒いボタンを外側に広げます。

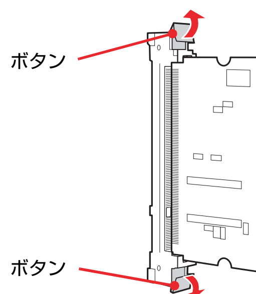


メモリの切り欠きがソケット内部の凸部に合うように差し込み、メモリの両端に均等に力をかけて押し込みます。



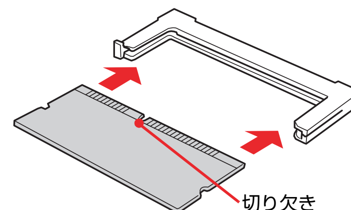
参考

作業をやり直すときやメモリを抜きたいときは、ボタンを外側に広げてから取り外してください。

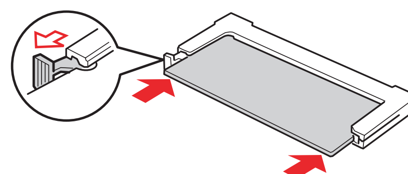


ROM モジュールの場合

ROMモジュールの切り欠きがソケット内部の凸部に合うように差し込みます。

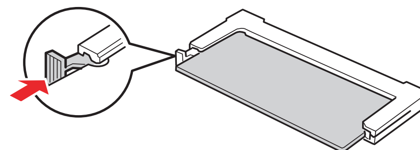


ソケット左側のボタンが飛び出すまで、ROM モジュールの両端に均等に力をかけて押し込みます。

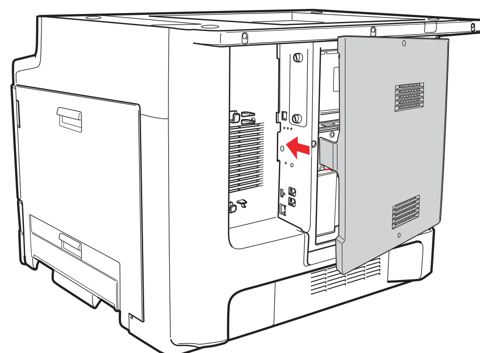


参考

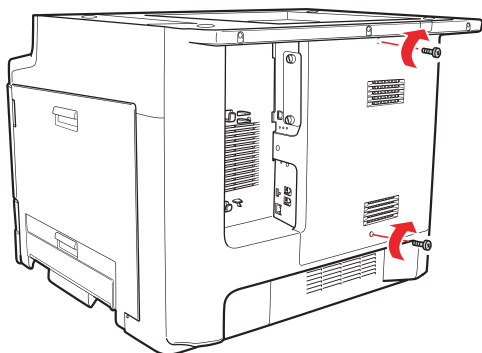
作業をやり直すときやROMモジュールを抜きたいときは、ボタンを押して取り外してください。



6 カバーの右側を本製品の突起に合わせてから閉じます。



7 ネジ（2 本）で固定します。



以上で終了です。

他のオプションを取り付けないときは、本製品を設置場所に移動します。

本書 33 ページ「設置」

インターフェイスカード

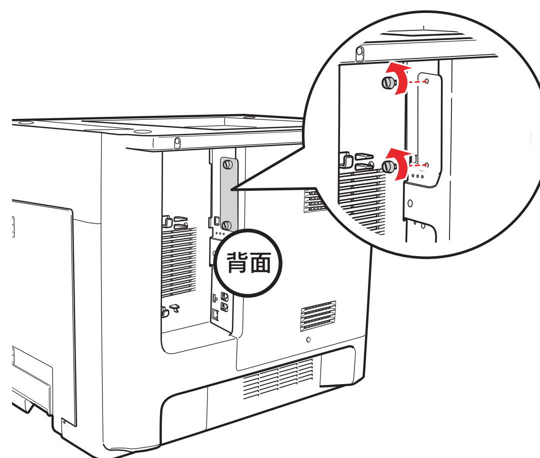
インターフェイスカードを取り付ける手順を説明します。

!重要

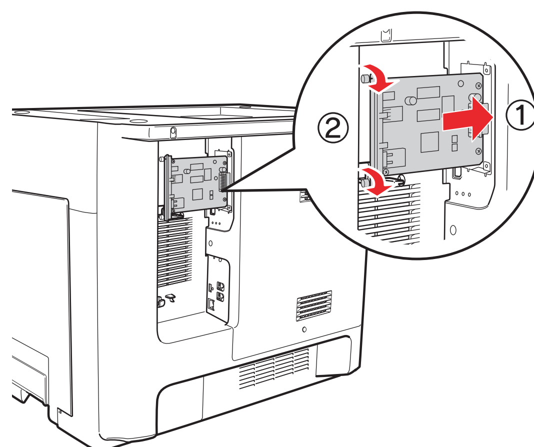
- 静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。
- 標準のネットワークインターフェイスと増設したネットワークインターフェイスを同時にネットワークへ接続したときのネットワーク印刷は保証しません。

1 本製品の電源が入っているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 本製品背面のネジ（2本）を外して、コネクタカバーを取り外します。



3 インターフェイスカードをスロットに差し込み、インターフェイスカードに付属のネジ（2本）で固定します。



以上で終了です。

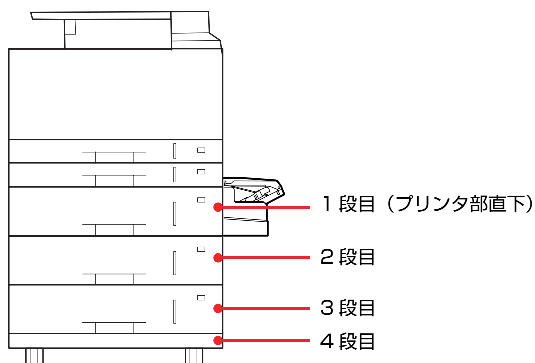
他のオプションを取り付けないときは、本製品を設置場所に移動します。

本書 33 ページ「設置」

設置可能な組み合わせの確認

プリンタ台、増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニット、キャビネットは、以下の 10 通りの組み合わせのみ設置可能です。

組み合わせを確認の上、それぞれの取り付け手順の説明を参照してください。



	1 段目	2 段目	3 段目	4 段目
①	プリンタ台	−	−	−
②	キャビネット	−	−	−
③	増設カセットユニット	プリンタ台	−	−
④	増設カセットユニット	キャビネット	−	−
⑤	MP トレイ付き増設カセットユニット	プリンタ台	−	−
⑥	MP トレイ付き増設カセットユニット	キャビネット	−	−
⑦	増設カセットユニット	増設カセットユニット	プリンタ台	−
⑧	MP トレイ付き増設カセットユニット	増設カセットユニット	プリンタ台	−
⑨	増設カセットユニット	増設カセットユニット	増設カセットユニット	プリンタ台
⑩	MP トレイ付き増設カセットユニット	増設カセットユニット	増設カセットユニット	プリンタ台

⚠注意

- 増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセット、プリンタ台、キャビネットは必ず設置可能な組合せで使用してください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品またはオプションに付属の転倒防止部材（転倒防止脚、固定金具、転倒防止金具）は取り付け手順を確認の上、必ず取り付けてください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。

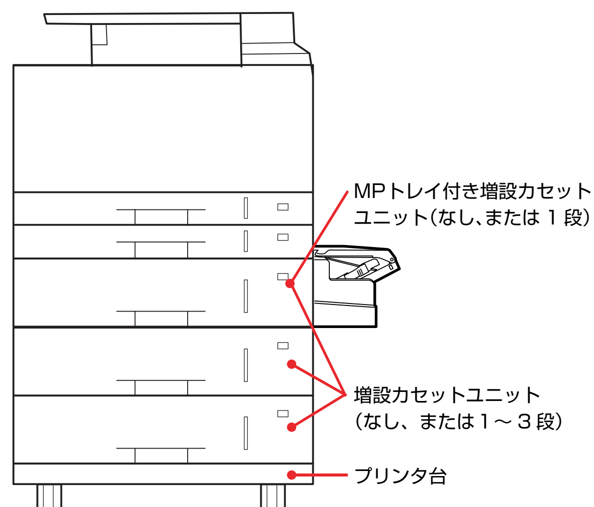
- 増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットを取り付ける場合は、プリンタ台またはキャビネットが必要です。（上表③～⑩）
- 増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットを合わせて 2 段以上取り付ける場合、キャビネットは使用できません。（表⑦～⑩）
- MPトレイ付き増設カセットユニットは、プリンタ部直下に 1 段のみ取り付け可能です。（表⑤、⑥、⑧、⑩）
- 最大 3 段まで取り付け可能です。（表⑨、⑩）

プリンタ台

プリンタ台を取り付ける手順を説明します。プリンタ台は、増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニット、プリンタ部のいずれかに直接取り付けることができます。

プリンタ台を使用した組み合わせ例を確認の上、設置してください。

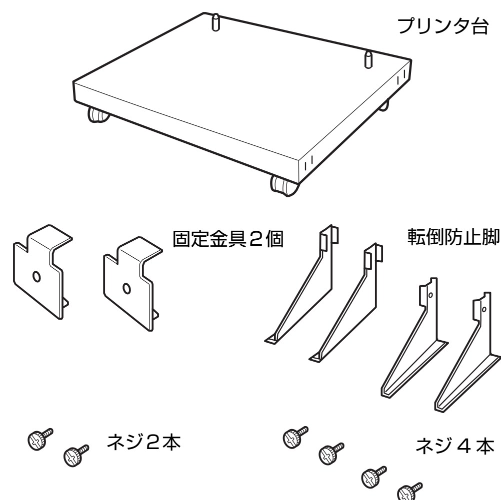
☞ 本書 19 ページ「設置可能な組み合わせの確認」



1 **本製品の電源が入っているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

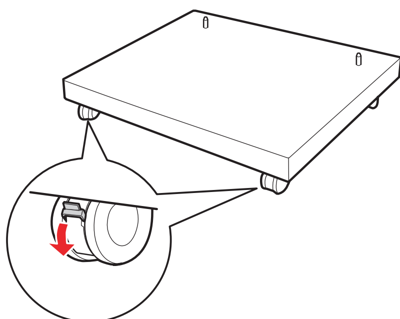
2 **同梱物を確認します。**

同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。

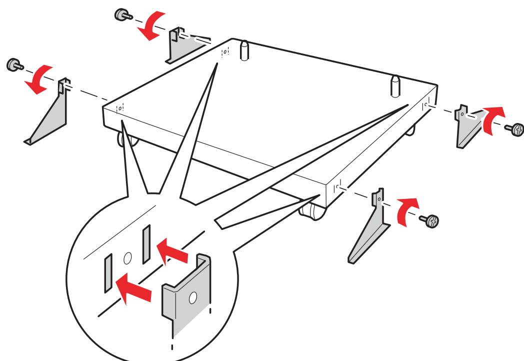


3 プリンタ台を平らな場所に置き、前側のキャスター2箇所をロックします。

> ⚠注 意
> キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
> 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。



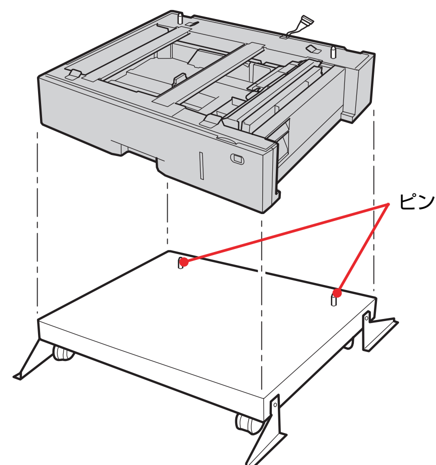
4 転倒防止脚(4個)をネジ(4本)で固定します。



5 増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニットまたはプリンタ部を、プリンタ台に載せます。

ピンと、増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニットまたはプリンタ部の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

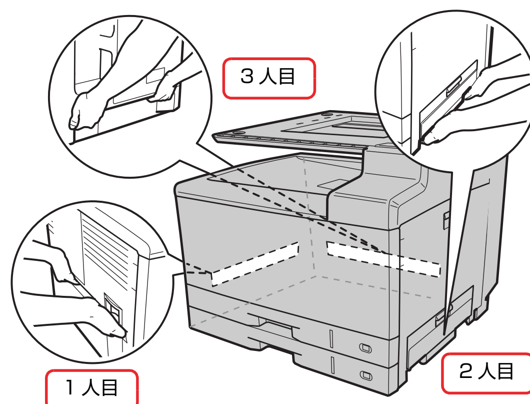
増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットの場合

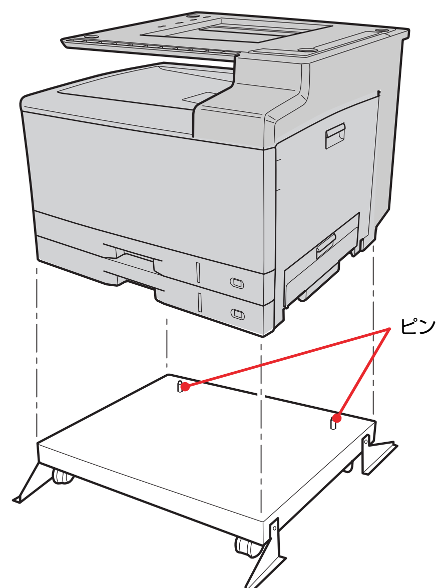


増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットの上にプリンタ部を載せる作業は、プリンタ台の取り付けがすべて終了してから行ってください。

プリンタ部の場合

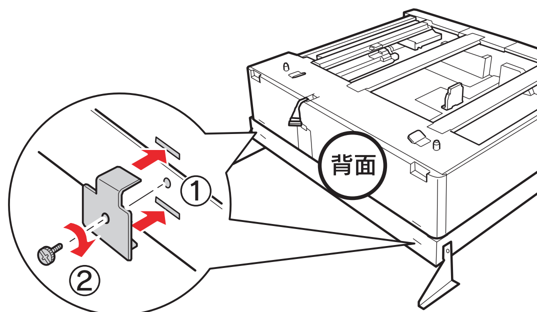
必ず 3 人で持ち上げてください。図のようにプリンタ部の取っ手に手を掛けて運んでください。





6 **プリンタ台と増設カセットユニット、MPトレイ付き増設カセットユニットまたはプリンタ部を、固定金具（2個）とネジ（2本）で固定します。**

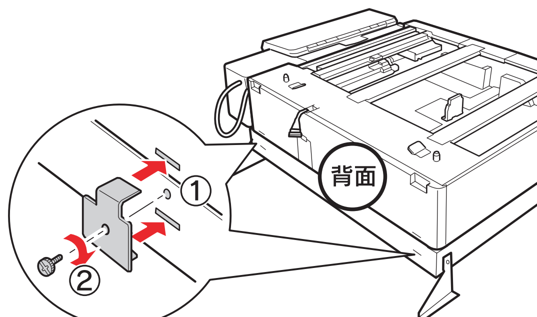
増設カセットユニットの場合



続いて2段目の増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニットまたはプリンタ部を取り付けます。

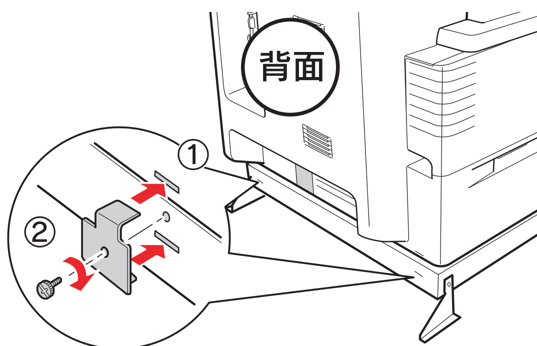
本書 23 ページ「増設カセットユニット」
本書 26 ページ「MP トレイ付き増設カセットユニット」

MP トレイ付き増設カセットユニットの場合



続いてプリンタ部を取り付けます。

プリンタ部の場合



以上で終了です。

プリンタ台の上に、増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットを取り付けた場合は、転倒防止金具を取り付けます。

本書 29 ページ「転倒防止金具の取り付け」

他のオプションを取り付けない場合は、本製品を設置場所に移動します。

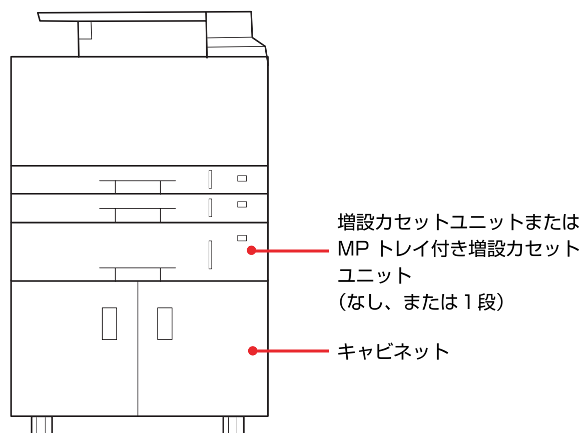
本書 33 ページ「設置」

キャビネット

キャビネットを取り付ける手順を説明します。キャビネットは、増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニット、プリンタ部のいずれかに直接取り付けることができます。

キャビネットを使用した組み合わせ例を確認の上、設置してください。

本書 19 ページ「設置可能な組み合わせの確認」

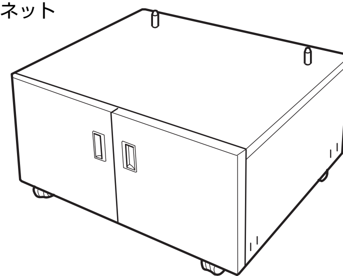


1 **本製品の電源が入っているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

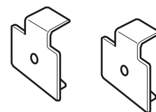
2 **同梱物を確認します。**

同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。

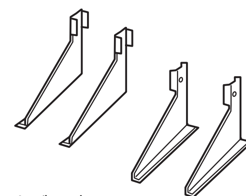
キャビネット



固定金具2個



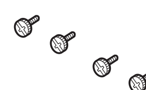
転倒防止脚



ネジ2本

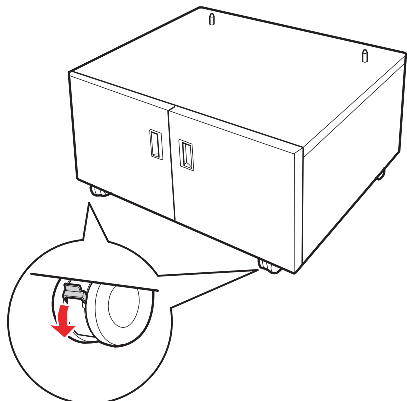


ネジ4本

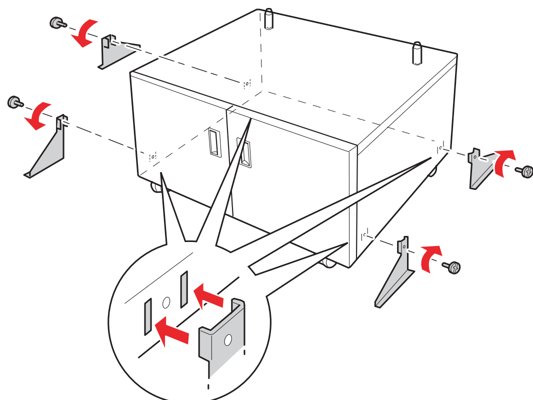


3 キャビネットを平らな場所に置き、前側のキャスター2箇所をロックします。

> ⚠注意
>
> キャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。
> 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。



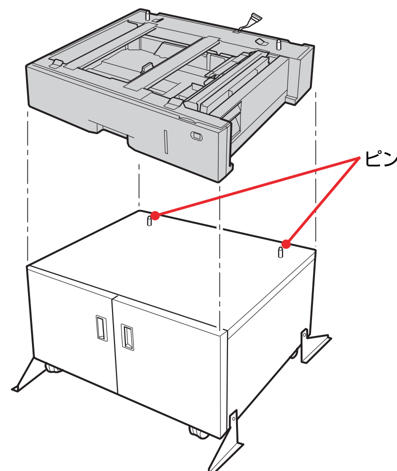
4 転倒防止脚（4個）をネジ（4本）で固定します。



5 増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニットまたはプリンタ部を、キャビネットに載せます。

ピンと、増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニットまたはプリンタ部の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

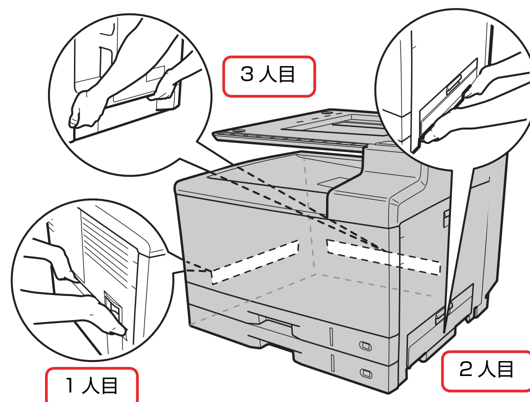
増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットの場合

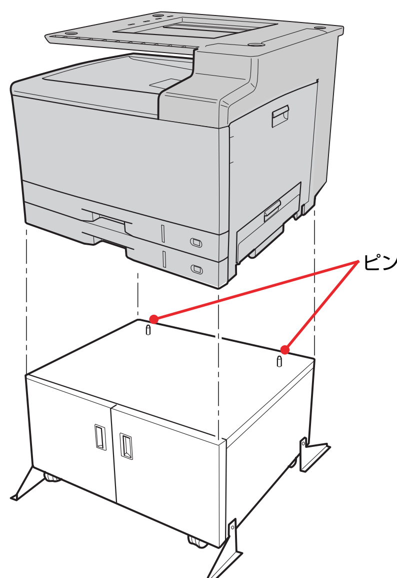


増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットの上にプリンタ部を載せる作業は、キャビネットの取り付けがすべて終了してから行ってください。

プリンタ部の場合

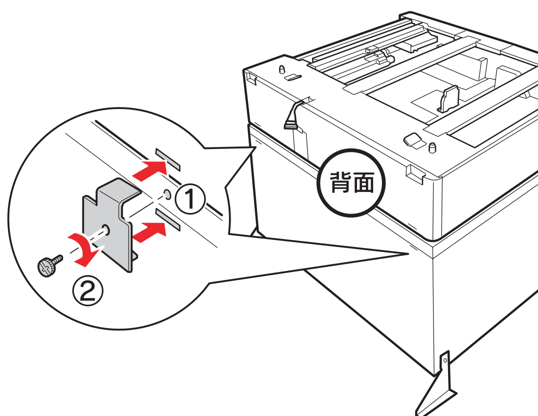
本製品は、必ず 3 人で持ち上げてください。図のようにプリンタ部の取っ手に手を掛けて運んでください。





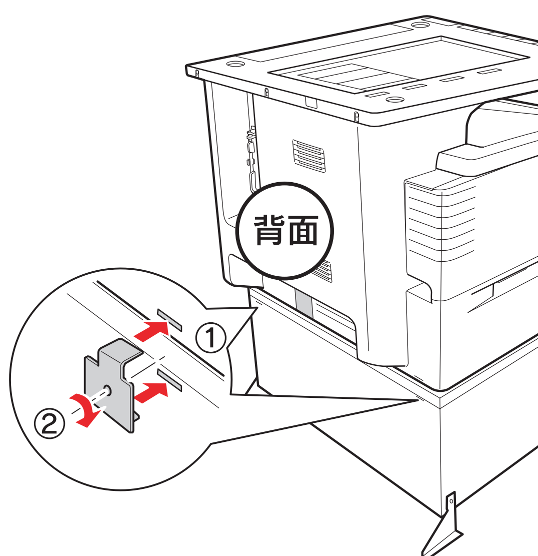
6 **キャビネットと増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニットまたはプリンタ部を、固定金具（2個）とネジ（2 本）で固定します。**

増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットの場合



続いてプリンタ部を取り付けます。

プリンタ部の場合



以上で終了です。

キャビネットの上に増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットを取り付けた場合は、カセットユニットとプリンタ部に転倒防止金具（小）を取り付けます。

本書 29 ページ「転倒防止金具の取り付け」

他のオプションを取り付けない場合は、本製品を設置場所に移動します。

本書 33 ページ「設置」

増設カセットユニット

増設カセットユニットを取り付ける手順を説明します。

増設カセットを使用した組み合わせ例を確認の上、設置してください。

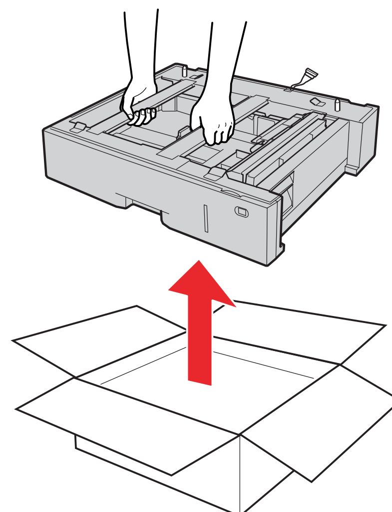
本書 19 ページ「設置可能な組み合わせの確認」

> ⚠注 意
>
> 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
> 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

> **！重 要**
>
> 増設カセットユニットは、プリンタ台またはキャビネットの上に取り付けてください。直接床や机上に置くことはできません。

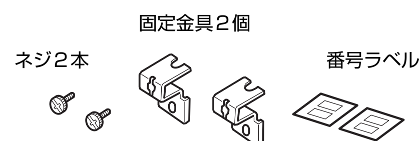
1 **本製品の電源が入っているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

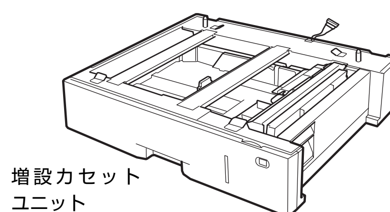
2 **増設カセットユニットを図のように持って、箱から取り出します。**



3 **同梱物を確認します。**

同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。





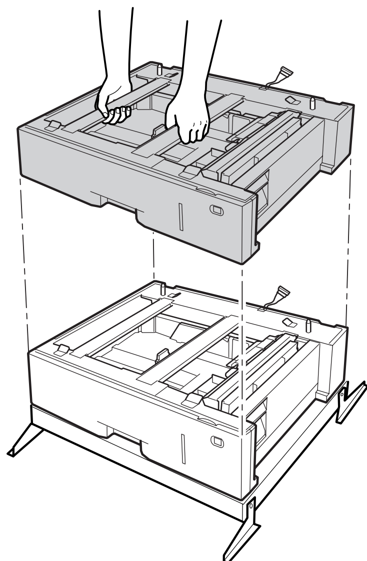
4 **プリンタ台またはキャビネットは、あらかじめ増設カセットユニットの最下段に取り付けておきます。**

本書 19 ページ「プリンタ台」
本書 21 ページ「キャビネット」

5 **2 台目の増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットを重ねるときは、1段目と2段目を重ねます。**

1段目の突起と2段目の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

増設カセット 2 段の場合



増設カセットユニットを2台重ねる場合は、3段目に増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットを取り付けることができます。

MP トレイ付き増設カセットユニットの場合

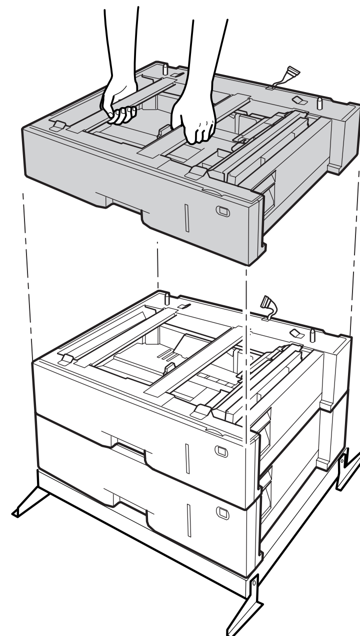
以下を参照して取り付けます。

本書 26 ページ「MP トレイ付き増設カセットユニット」

6 **3 台目の増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットを重ねるときは、2 段目と 3 段目を重ねます。**

2 段目の突起と 3 段目の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

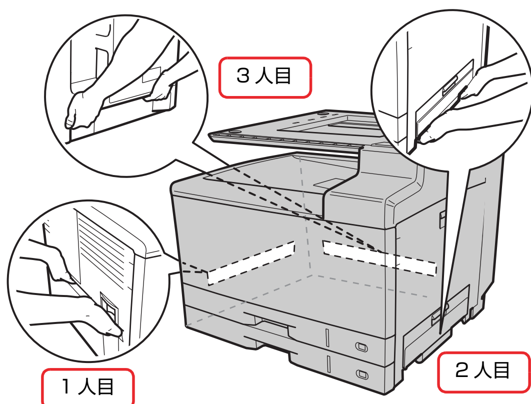
増設カセット 3 段の場合



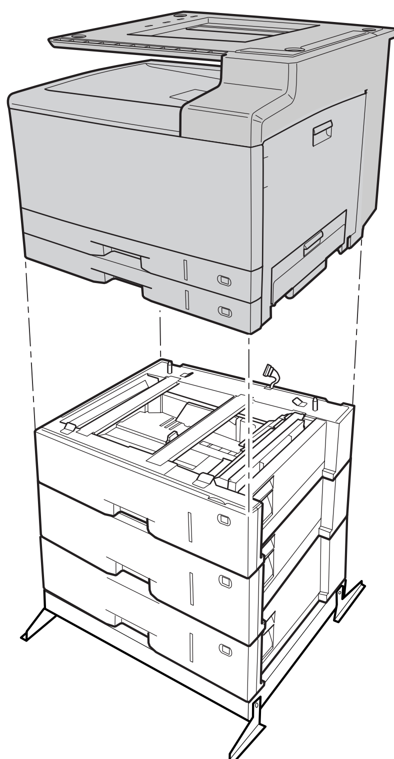
7

プリンタ部を載せます。

プリンタ部は必ず 3 人で持ち上げてください。図のようにプリンタ部の取っ手に手を掛けて運んでください。



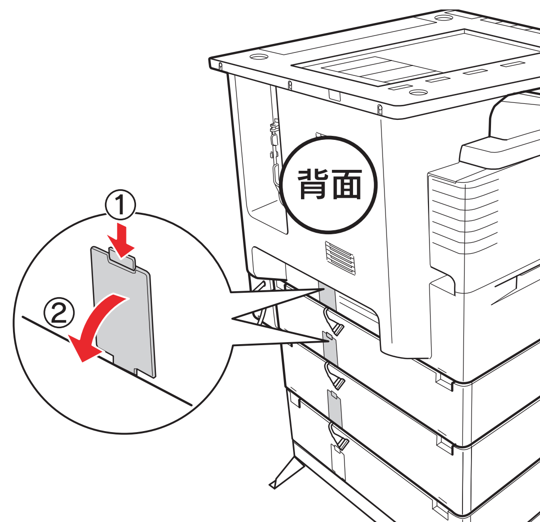
増設カセットユニットの突起とプリンタ部の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。



8

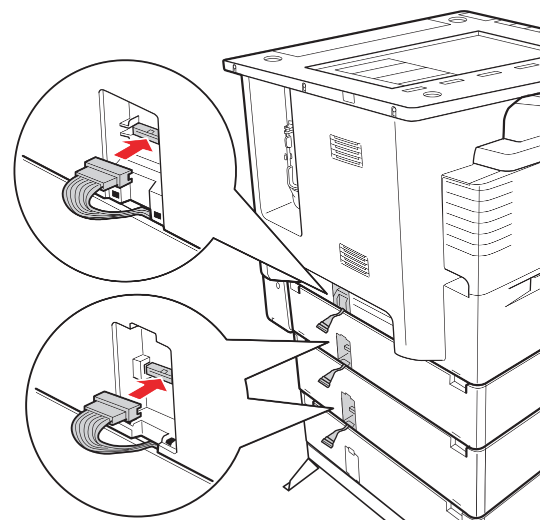
増設カセットユニットとプリンタ部の背面のコネクタカバーを取り外します。

MP トレイ付き増設カセットユニットがある場合は、MP トレイ付き増設カセットユニットの背面のコネクタカバーを取り外します。



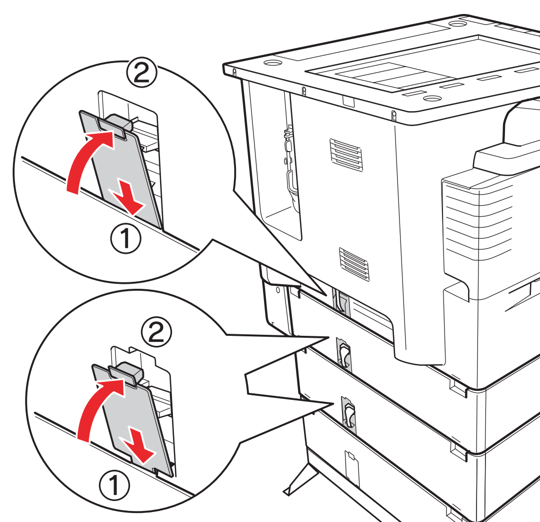
9

コネクタを接続します。



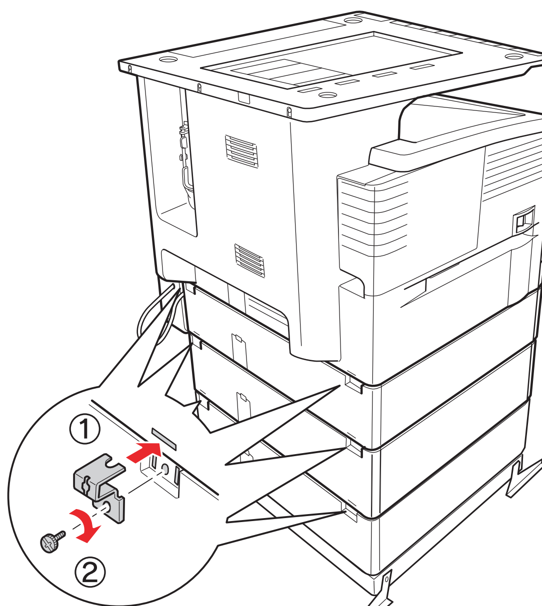
10

コネクタカバーを取り付けます。



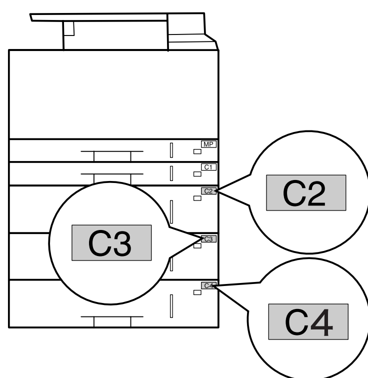
11 **プリンタ部と増設した各カセットユニットを背面で固定します。**

各カセットユニットを固定金具（2 個）とネジ（2 本）で固定してください。

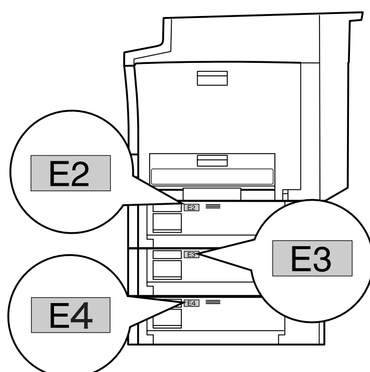


12 **用紙カセットとカバー E の番号ラベルを貼り付けます。**

正面



右側面



「C4」、「E4」の番号ラベルは、プリンタ部に同梱されています。

以上で終了です。

次に転倒防止金具を取り付けます。

本書 29 ページ「転倒防止金具の取り付け」

MP トレイ付き増設カセットユニット

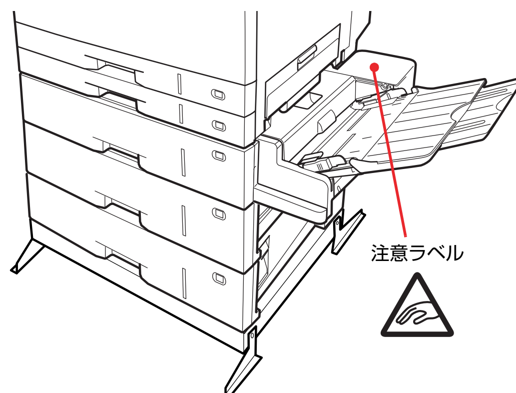
MP トレイ付き増設カセットユニットを取り付ける手順を説明します。

MP トレイ付き増設カセットユニットを使用した組み合わせ例を確認の上、設置してください。

本書 19 ページ「設置可能な組み合わせの確認」

注意

- 本製品 * を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品 * は重いので、1 人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。
  本製品 * の質量は以下を参照してください。
  『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「仕様」
- 本製品*を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品 * の持ち上げ方は以下を参照してください。
- 本製品 * を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。
- Jカバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。



* 本製品とは MP トレイ付き増設カセットユニットを示します。

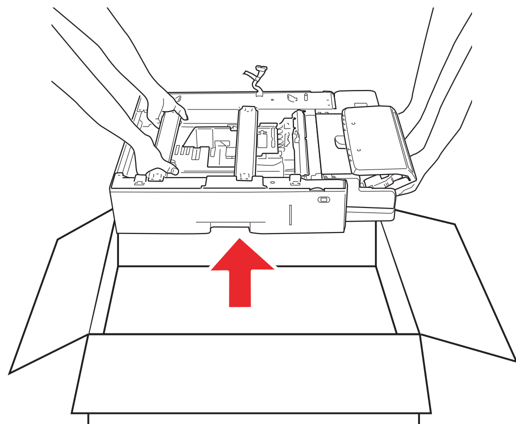
重要

MP トレイ付き増設カセットユニットは、プリンタ台またはキャビネットの上に取り付けてください。直接床や机上に置くことはできません。

1 **本製品の電源が入っているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 MP トレイ付き増設カセットユニットを箱から取り出します。

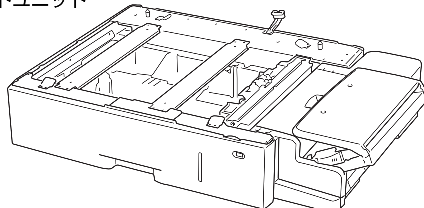
必ず 2 人で持ち上げてください。図のように MP トレイ付き増設カセットユニットの取っ手に手を掛けて運んでください。



3 同梱物を確認します。

同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。



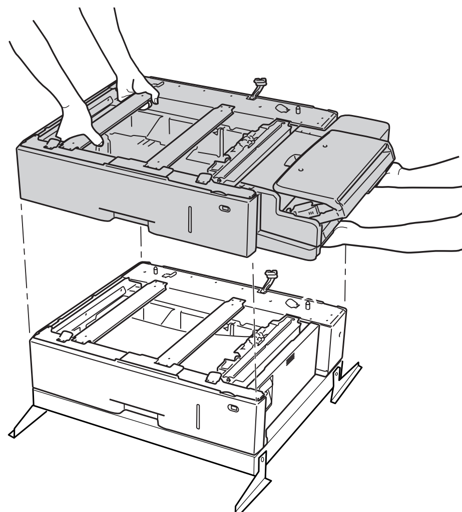


4 プリンタ台またはキャビネットは、あらかじめ MP トレイ付き増設カセットユニットの最下段に取り付けておきます。

☞ 本書 19 ページ「プリンタ台」
☞ 本書 21 ページ「キャビネット」

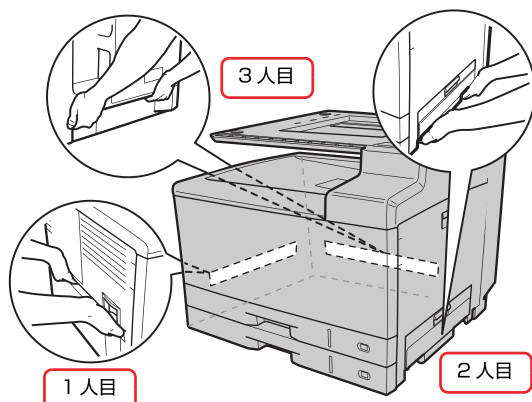
5 増設カセットユニットを取り付ける場合は、増設カセットユニットの上に MP トレイ付き増設カセットユニットを載せます。

増設カセットユニットの突起と MP トレイ付き増設カセットユニットの底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

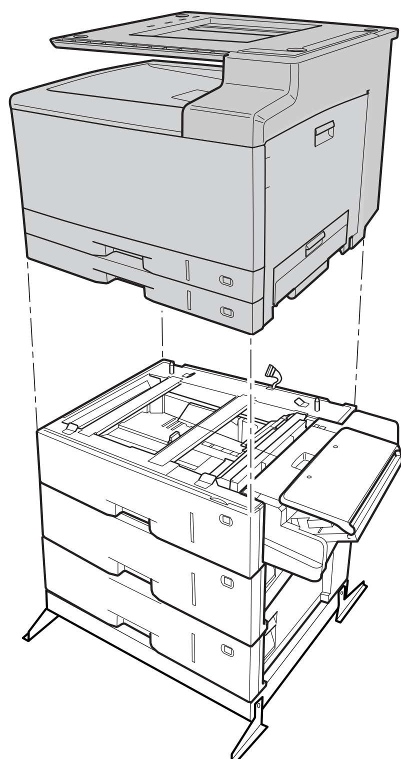


6 MP トレイ付き増設カセットユニットの上にプリンタ部を載せます。

本製品は、必ず 3 人で持ち上げてください。図のようにプリンタ部の取っ手に手を掛けて運んでください。

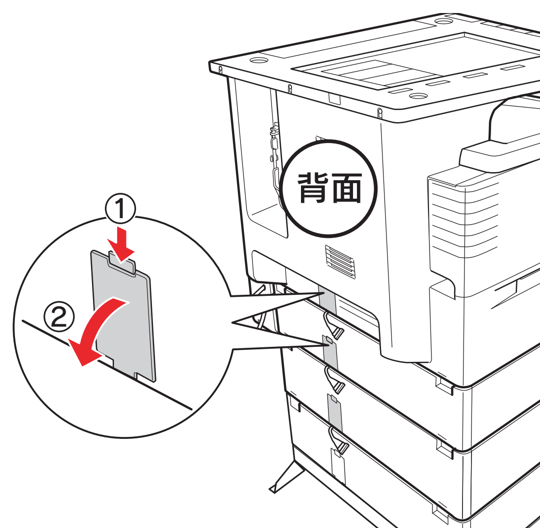


MP トレイ付き増設カセットユニットの突起とプリンタ部の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

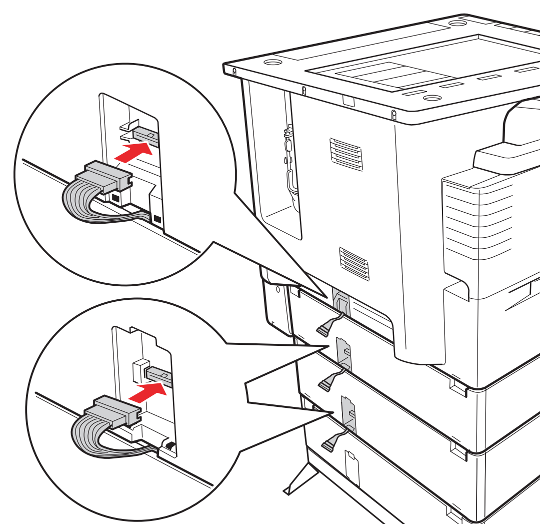


7 MP トレイ付き増設カセットユニットとプリンタ部の背面のコネクタカバーを取り外します。

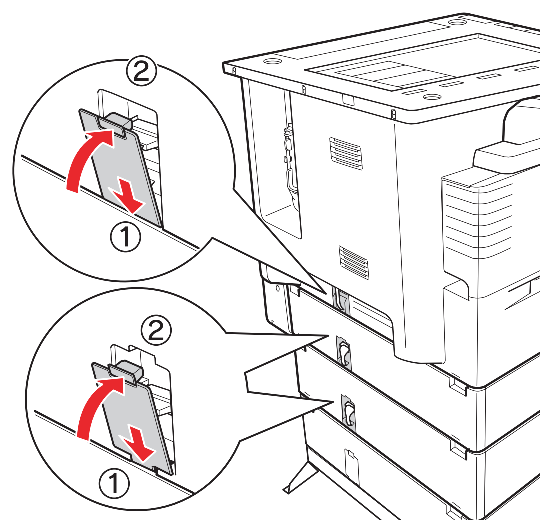
増設カセットユニットがある場合は、増設カセットユニットの背面のコネクタカバーを取り外します。



8 コネクタを接続します。

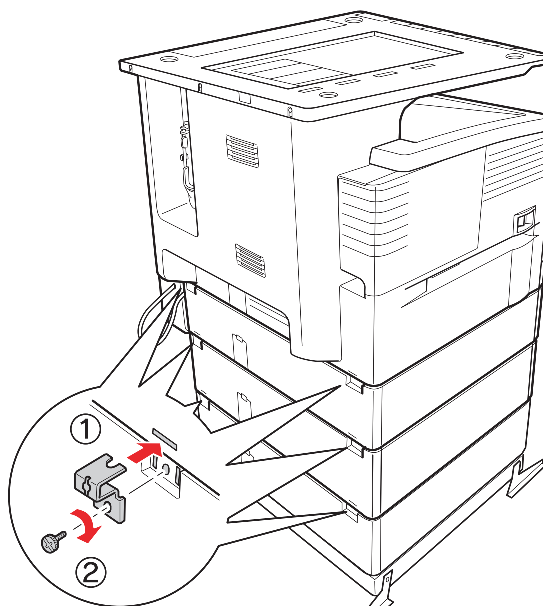


9 コネクタカバーを取り付けます。



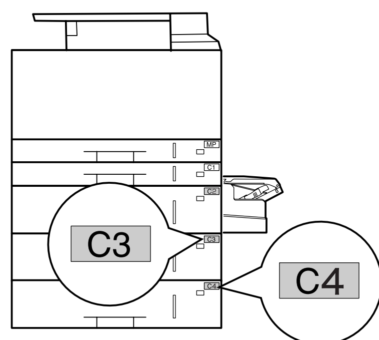
10 **プリンタ部と増設した各カセットユニットを背面で固定します。**

各カセットユニットを固定金具（2 個）とネジ（2 本）で固定してください。

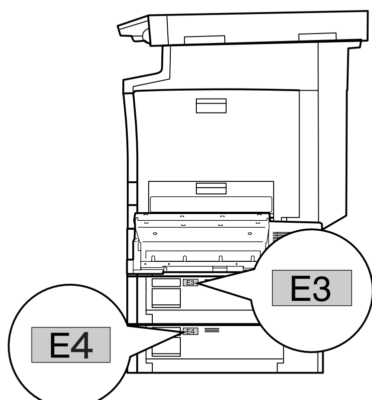


11 **用紙カセットとカバー E の番号ラベルを貼り付けます。**

正面



右側面



「C4」、「E4」の番号ラベルは、プリンタ部に同梱されています。

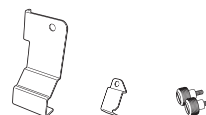
以上で終了です。

次に転倒防止金具を取り付けます。

転倒防止金具の取り付け

増設カセットユニット、MP トレイ付き増設カセットユニット使用時は必ず転倒防止金具を取り付けてください。

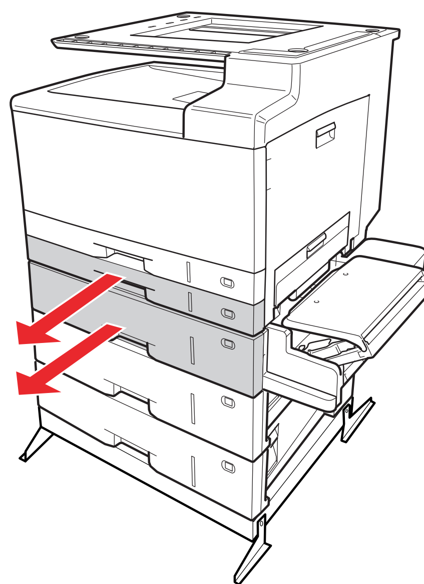
転倒防止金具（大、小、ネジ２本）は、プリンタ部に同梱されています。



プリンタ部への取り付け

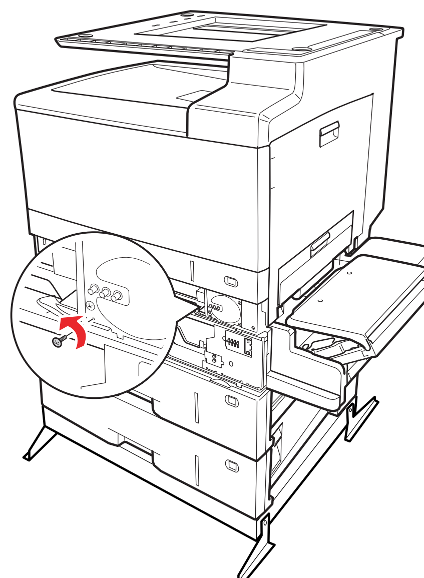
転倒防止金具（小）を取り付けます。

1 **用紙カセット１とそのすぐ下の増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットの用紙カセットを取り外します。**

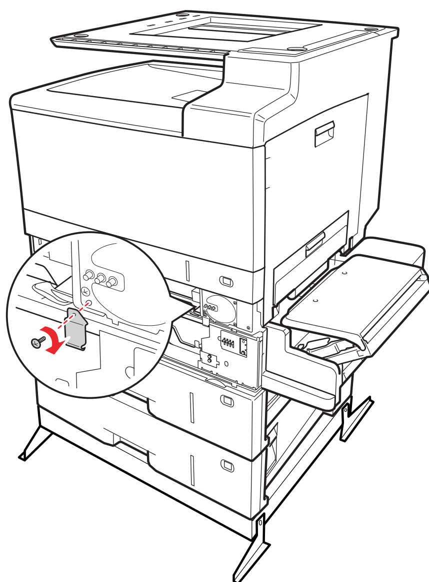


2 **用紙カセット１のネジを外します。**

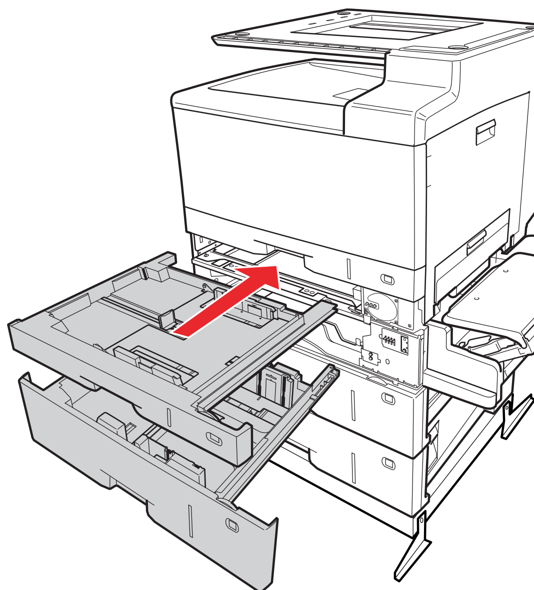
外したネジは、次の手順で使用します。



3 転倒防止金具（小）を取り付け、手順 2 で外したネジで固定します。



4 手順 1 で取り外した用紙カセットを戻します。

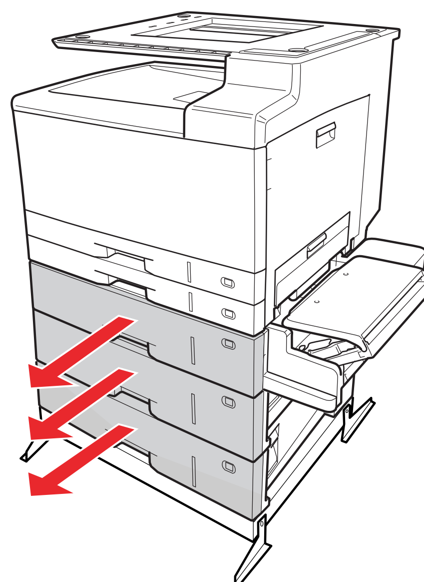


以上で終了です。

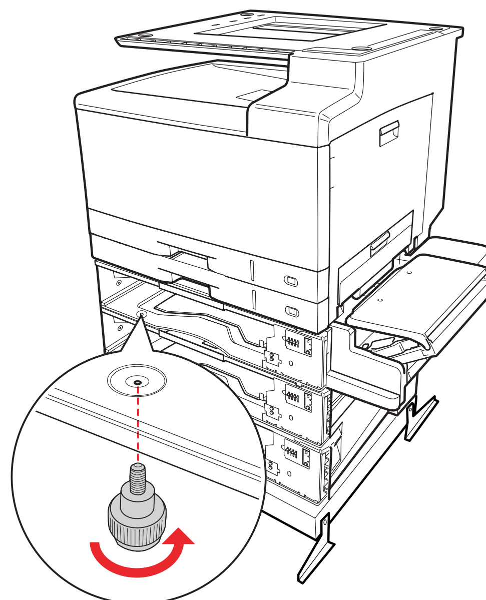
増設カセットユニットまたはMPトレイ付き増設カセットユニットへの取り付け

増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットを2段以上重ねる場合は、転倒防止金具（ネジ）を取り付けます。

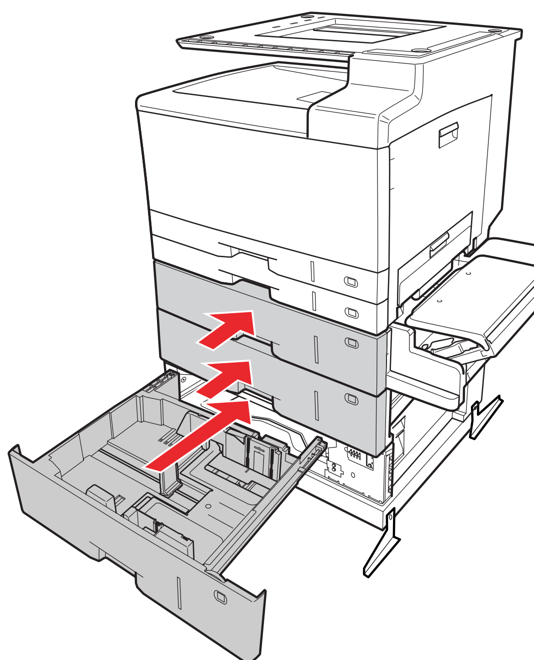
1 増設カセットユニットまたは MP トレイ付き増設カセットユニットの用紙カセットをすべて取り外します。



2 ネジを下から取り付けます。



3 手順 1 で取り外した用紙カセットを戻します。

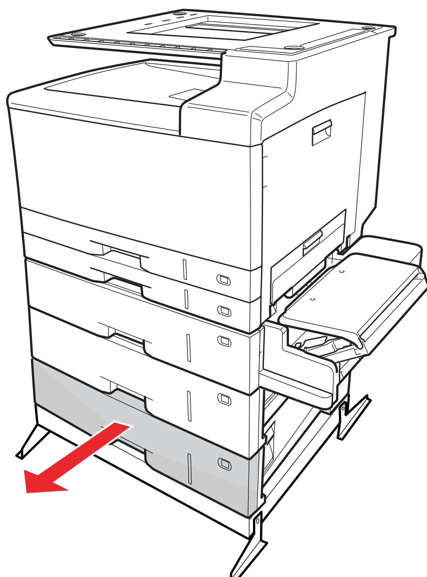


以上で終了です。

プリンタ台への取り付け

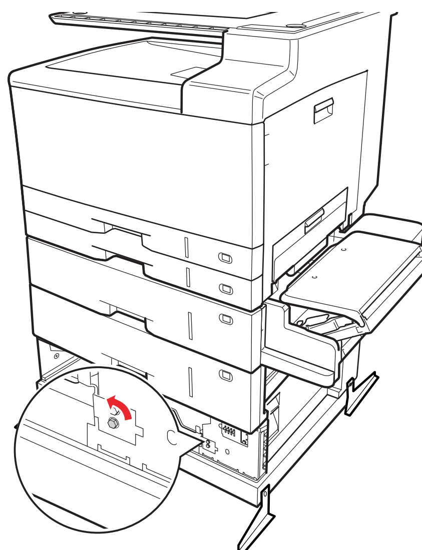
転倒防止金具（大）を取り付けます。

1 最下段のカセットユニットの用紙カセットを取り外します。

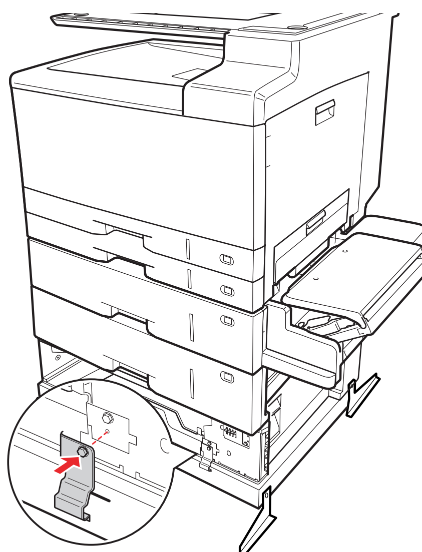


2 カセットユニットのネジを外します。

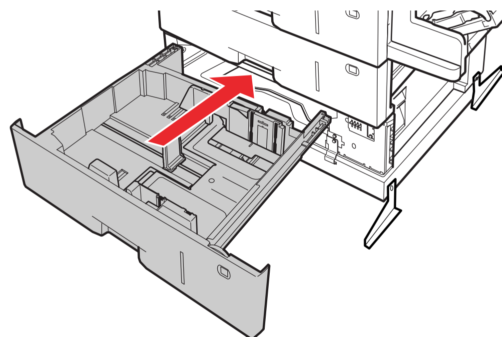
外したネジは、次の手順で使用します。



3 転倒防止金具（大）を取り付け、手順 2 で取り外したネジで固定します。



4 手順 1 で取り外した用紙カセットを戻します。



以上で終了です。

次に本製品を設置場所に移動します。

本書 33 ページ「設置」

プリンタドライバでオプション設定

初めて本製品をセットアップするときは、この項目を読まずに、以下のページに進んでください。

☞ 本書 33 ページ「設置」

すでに本製品を使用中で、オプション（給紙装置、メモリ）を追加したときは、以下の作業を行ってください。

取り付けたオプションを使用するには、プリンタドライバの設定が必要です。

Windows の場合

- EPSON ステータスモニタをインストールしている場合は、本製品の電源を入れ、プリンタのプロパティ画面を開いてください。プロパティ画面を開くと自動的に認識されます。
- EPSON ステータスモニタをインストールしていない場合は、以下の手順でプリンタドライバでオプション情報を設定してください。

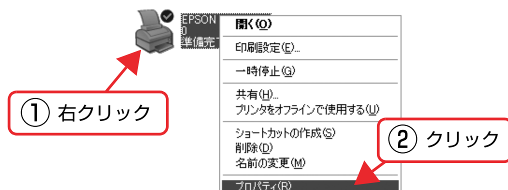
1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

Windows Vista：
［ ］—［コントロールパネル］—［プリンタ］の順にクリックします。

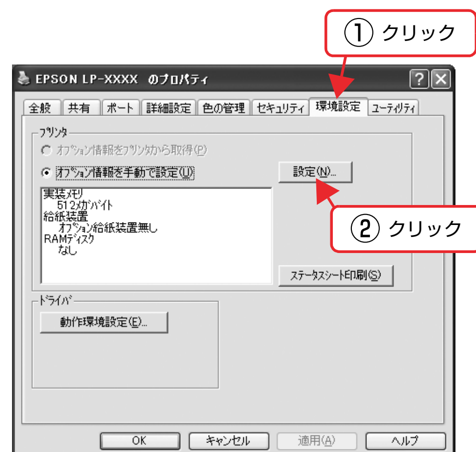
Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］—［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］—［設定］—［プリンタ］をクリックします。

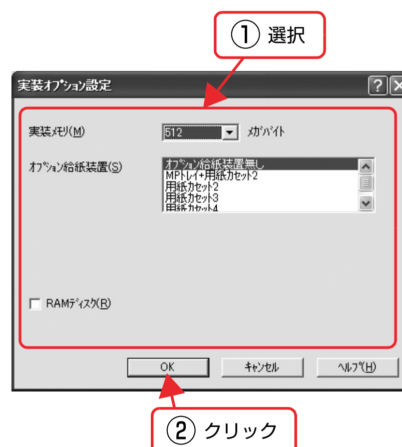
2 **本製品のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**



3 **［環境設定］画面で［設定］をクリックします。**



4 **取り付けたオプションを選択して［OK］をクリックします。**



以上で終了です。

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を追加し直すか、EPSON ステータスモニタを起動すると、情報が更新されます。

設置

本製品の設置に適した場所と設置方法を説明します。内容を確認し、正しく設置してください。

設置場所

次のような場所に設置してください。

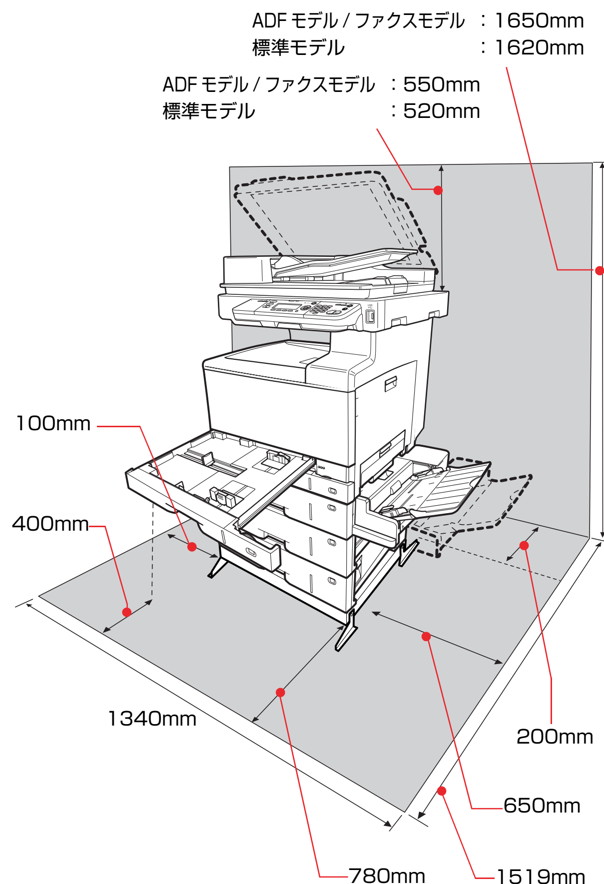
- 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
  『取扱説明書2　使い方編』(冊子)「外形寸法/質量」
- 本製品底面の脚が確実に載る、本製品の底面よりも広い場所
- 風通しの良い場所
- 本製品の通風口をふさがない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 以下の条件を満たす場所
  『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「環境条件」

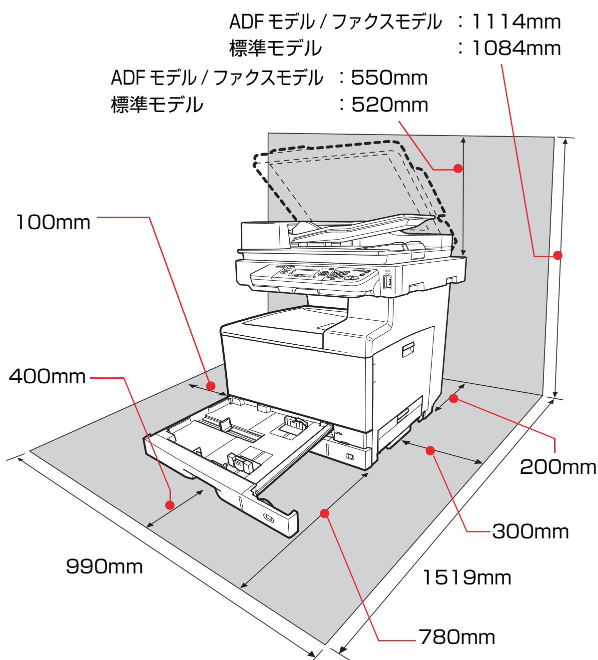
! 重要

- 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因となります。
  直射日光の当たる場所　ホコリや塵の多い場所
  温度変化の激しい場所　湿度変化の激しい場所
  火気のある場所　水に濡れやすい場所
  揮発生物質のある場所　冷暖房器具に近い場所
  震動のある場所　加湿器に近い場所
  テレビ・ラジオに近い場所
- 本製品より広く平らな場所に設置してください。本製品の底面より小さい台の上に設置すると、プリンタ部底面のゴム製の脚が台からはみ出してしまうため、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。

設置スペース

消耗品の交換や普段のお手入れに支障のないよう、以下のスペースを確保して設置してください。



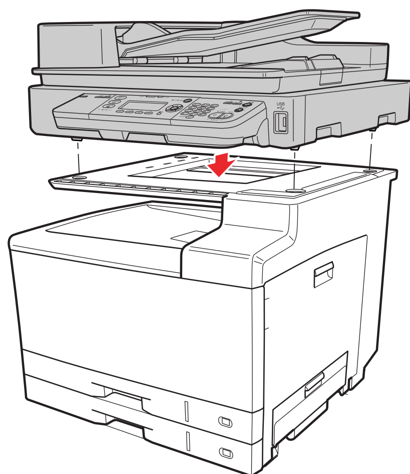


静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

本製品の設置

プリンタ部を設置場所に移動してから、上にスキャナを載せます。

スキャナ部底面のゴム脚がプリンタ部のくぼみにはまるように設置します。



以上で終了です。

次に消耗品、用紙、ケーブル類を取り付け、電源を入れます。

消耗品、用紙、ケーブル類の取り付け

消耗品（感光体ユニット、トナーカートリッジ）と用紙のセット方法、ケーブル類の取り付け方法を説明します。

その後、電源を入れて日付時刻設定をします。

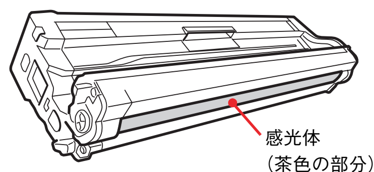
消耗品

感光体ユニット、トナーカートリッジの順番で取り付けます。

感光体ユニット

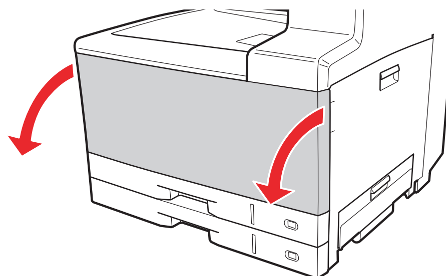
！重要

- 感光体ユニットの感光体（感光体ユニット下部の茶色の部分）には絶対に手を触れないでください。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質の低下や転写ユニットの故障の原因になります。またプリンタ本体の故障の原因にもなることがあります。

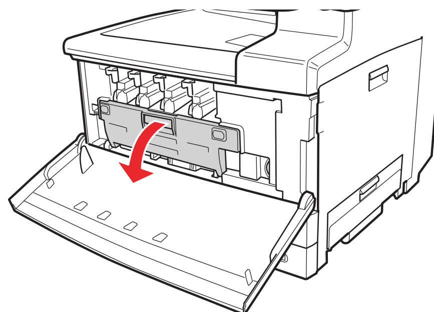


- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。

1 カバー A を開けます。

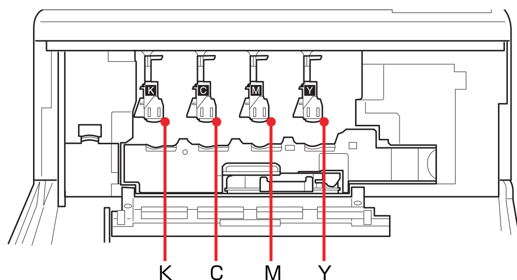


2 カバー H を開けます。

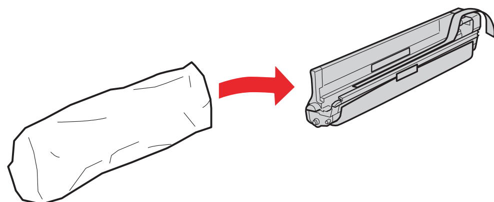


3 **挿入口の色と位置を確認します。**

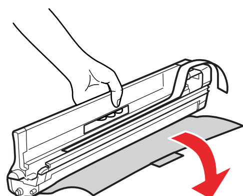
感光体ユニットは、どの色からセットしてもかまいません。
4 ～ 6 は、各色共通の作業になります。



4 **感光体ユニットを袋から取り出します。**

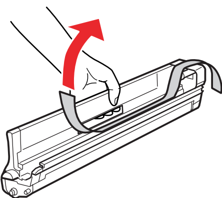


5 **感光体ユニットを図のように持って、保護シートを取り外します。**



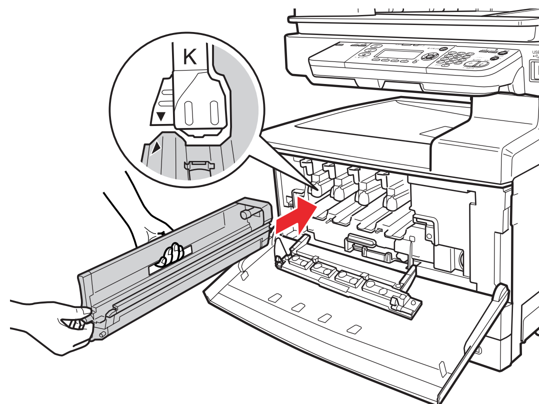
6 **テープをはがします。**

テープをはがした後は、トナーがこぼれますので傾けないでください。



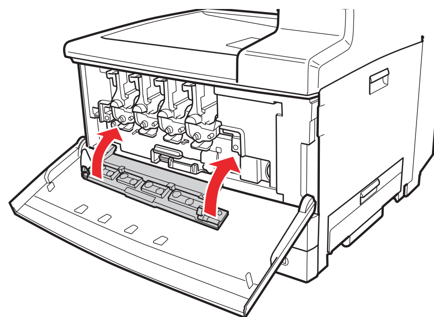
7 **挿入口の色と位置を確認し、マークを合わせて感光体ユニットを挿入します。**

ロックされるまで押し込んでください。
<例>ブラックの場合



8 **3 ～ 7 を繰り返し、4色すべての感光体ユニットをセットします。**

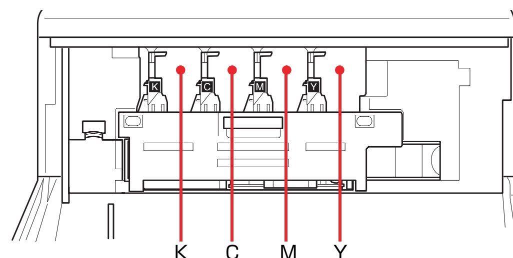
9 **カバーH を起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。**



トナーカートリッジ

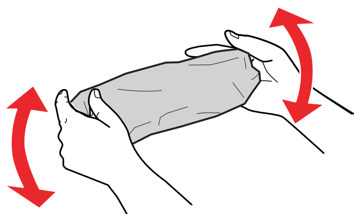
10 **挿入口の色と位置を確認します。**

トナーカートリッジは、どの色からセットしてもかまいません。
11 ～ 13 は各色共通の作業になります。

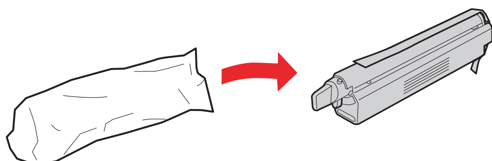


11 **トナーカートリッジを、袋に入れたまま５～６回振ります。**

振った後、トナーが片寄らないように水平にならしてください。

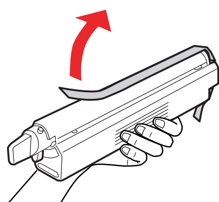


12 **トナーカートリッジを袋から出します。**



13 **テープをはがします。**

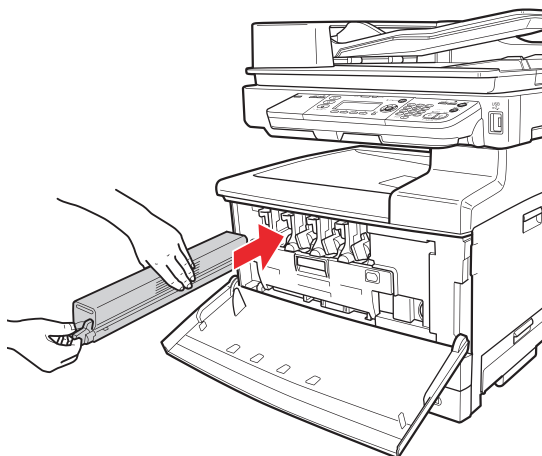
トナーがこぼれることがありますので、注意してテープをはがしてください。



14 **挿入口の色と位置を確認し、トナー補給口を下に向けてトナーカートリッジを挿入します。**

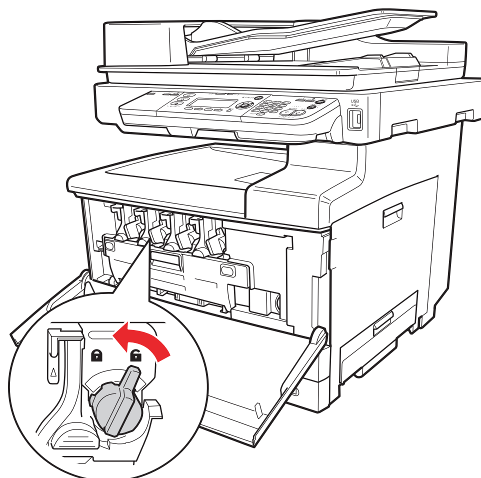
奥に突き当たるまで押し込んでください。

<例>ブラックの場合



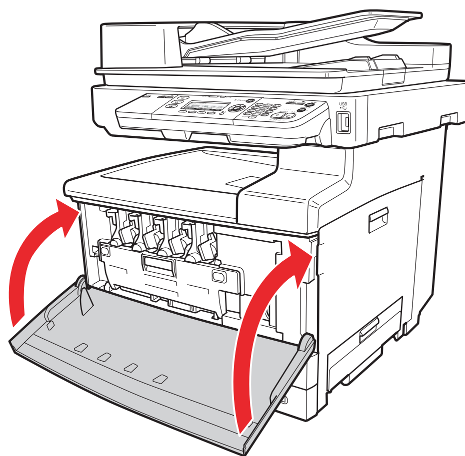
15 **トナーロックレバーを押しながら回して、ロック位置に合わせます。**

<例>ブラックの場合



16 **10 ～ 15 を繰り返し、４色すべてのトナーカートリッジをセットしてください。**

17 **カバー A を閉じます。**



以上で終了です。

次に用紙をセットします。

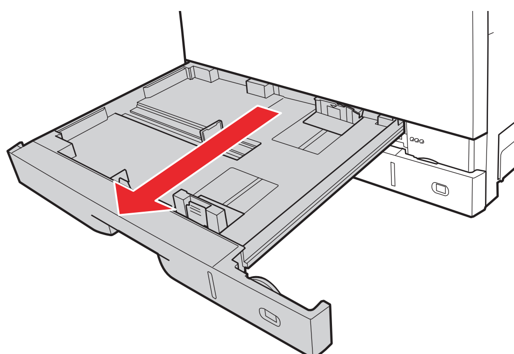
用紙

ここでは、A4 サイズの用紙を MP カセットにセットする方法を説明します。

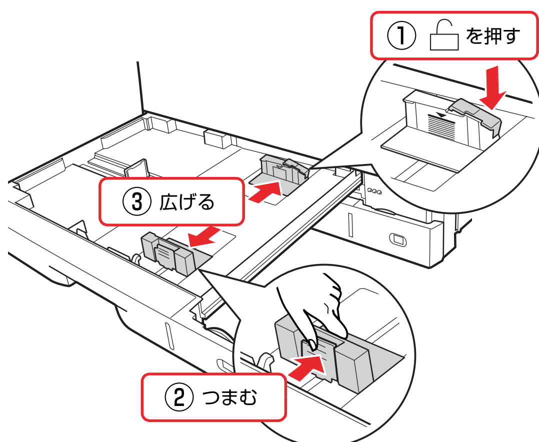
A4 サイズ以外の用紙のセット方法や、カセット 1、オプションの MP トレイ、用紙カセットへのセット方法は、以下を参照してください。

☞『取扱説明書 2　使い方編』(冊子)「用紙のセット方法」

1 **MP カセットを引き出します。**

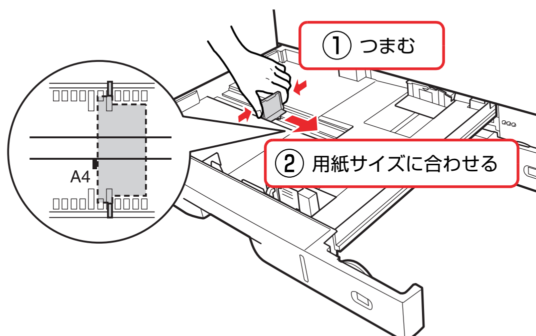


2 **用紙ガイド（前後）のロックを解除し、ツマミをつまんで外側に広げます。**



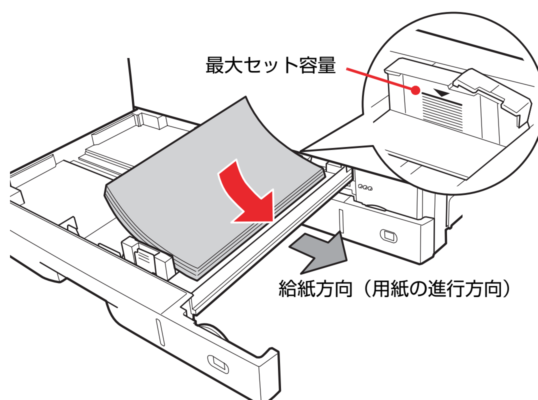
3 **用紙ガイド（左）のツマミをつまんで、A4 サイズに合わせます。**

用紙ガイドが溝に固定されていることを確認してください。



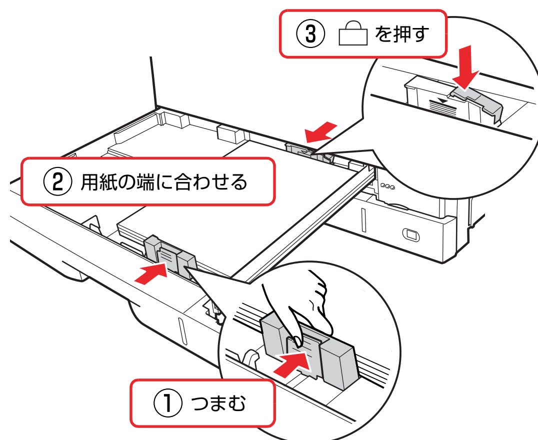
4 **用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。**

給紙方向（用紙の進行方向）に対して横長にセットします。

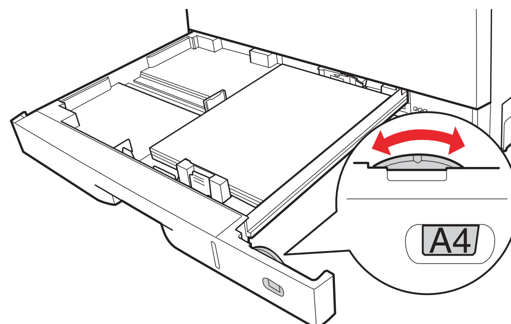


> **！重要**
>
> 用紙は最大 150 枚（普通紙 $64g/m^2$）までセットできます。用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

5 **用紙ガイド（前後）のツマミをつまんで用紙の端に合わせ、ロックします。**

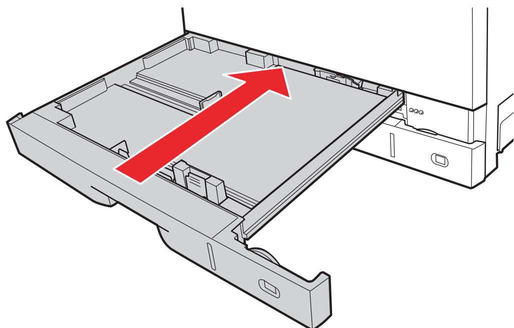


6 **用紙サイズ設定ダイヤルを［A4］にします。**



> **！重要**
>
> 用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されていないと、用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られないことがあります。

7 MP カセットを本製品にセットします。



以上で終了です。

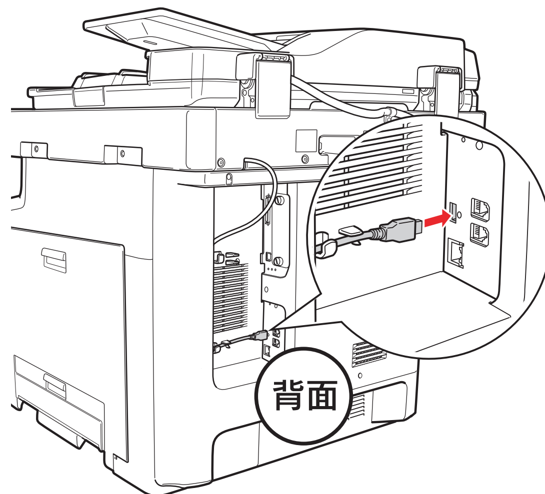
次にケーブル類を接続します。

ケーブル類

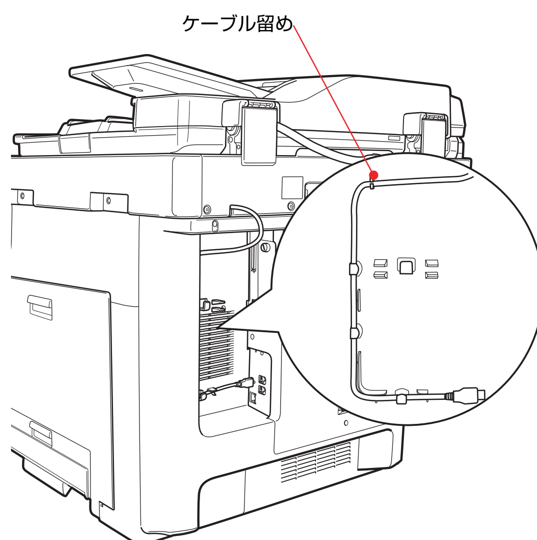
スキャナ背面のUSBケーブルと専用ケーブルを接続します。

USB ケーブル

1 **スキャナ部背面の USB ケーブルをプリンタ部背面の USB コネクタ接続します。**
コネクタの向きに注意して差し込みます。



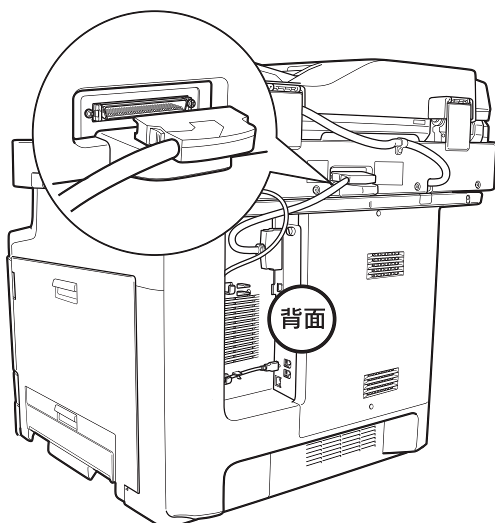
2 **ケーブルをケーブル留めに通し、余ったケーブルをフックにはめます。**



専用ケーブル

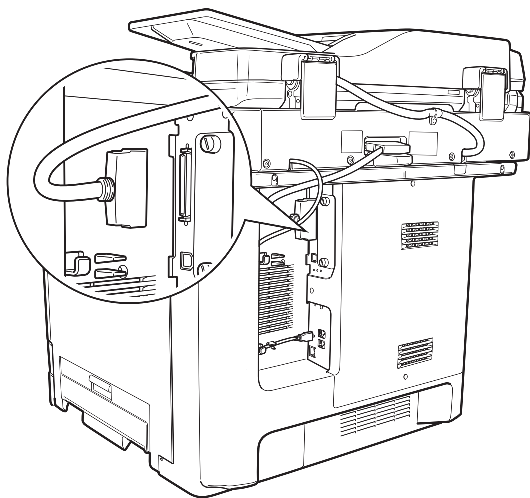
1 **スキャナ部背面のコネクタに専用ケーブルを接続します。**

コネクタの取り付け方向に注意して、カチッと音がするまで差し込みます。



2 **プリンタ部背面のコネクタに専用ケーブルのもう片方を接続します。**

コネクタの取り付け方向に注意して、カチッと音がするまで差し込みます。



以上で終了です。

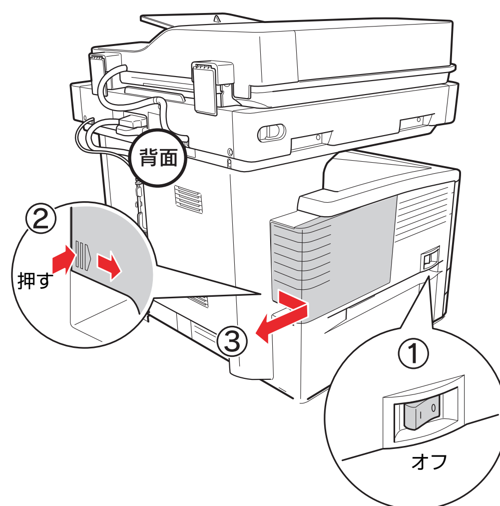
次に電源に接続します。

電源コード

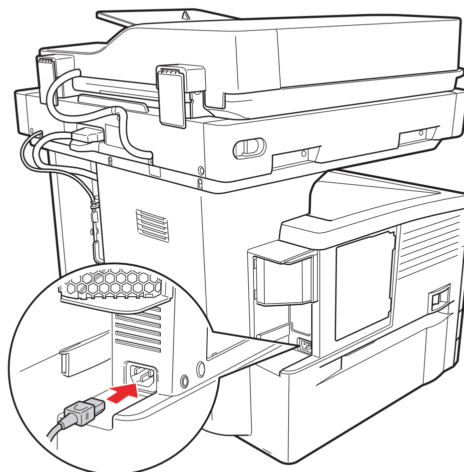
電源コードを接続します。

> ⚠警 告
>
> 漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
> アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
>
> - 電源コンセントのアース端子
> - 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
> - 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子
>
> アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

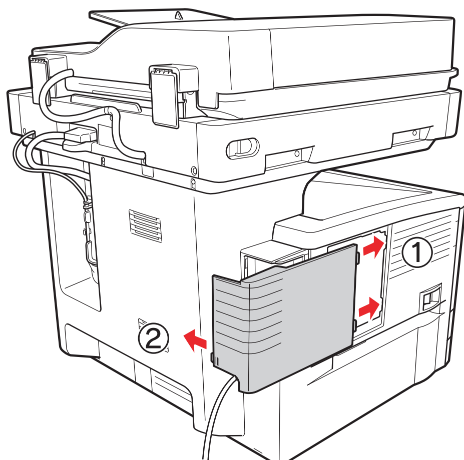
1 **電源がオフ（○）の位置になっていることを確認し、電装カバーを取り外します。**



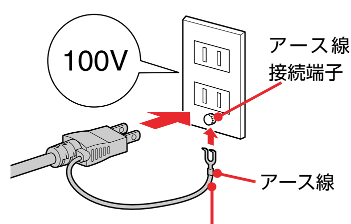
2 **電源コードを接続します。**



3 **電装カバーを取り付けます。**



4 **電源プラグをコンセントに接続し、アース線を接続端子に接続します。**



アース線を電源コンセントに差し込まないでください。アース線の接続端子がある場合に接続します。

以上で終了です。

次に電源を入れ、操作パネルから日時を設定します。

パネルの設定

操作パネル上で、西暦、日付、時刻を設定します。

参考

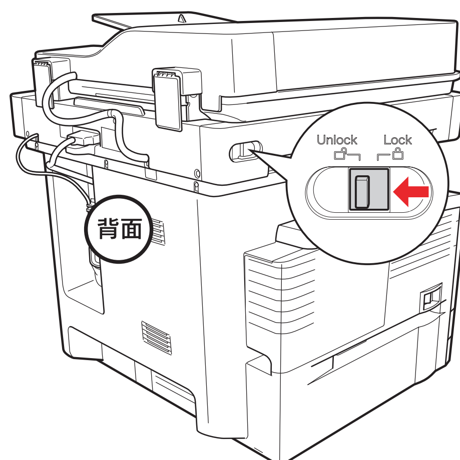
日付時刻の設定は、[各種設定] ボタン－ [共通設定] － [デバイス設定] － [日付時刻設定] で変更することもできます。

☞『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「操作パネルによる設定 / 確認」

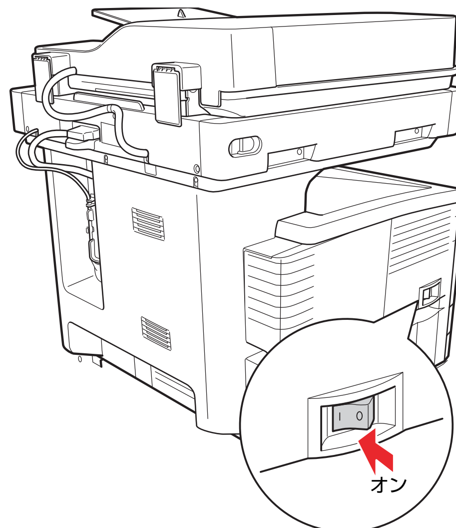
1 **スキャナ左側面の輸送用固定レバーをロック解除位置（Unlock）にスライドさせます。**

！重要

輸送用固定レバーは、輸送時以外はロックしないでください。

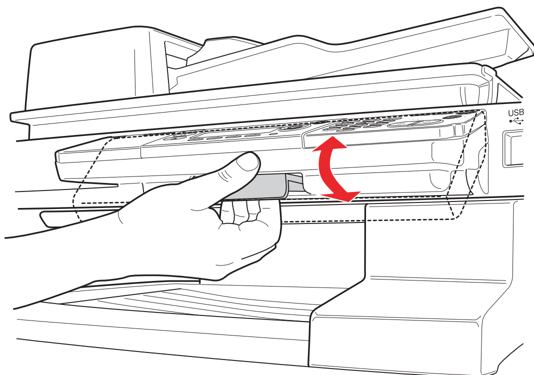


2 **本製品の電源を入れます。**



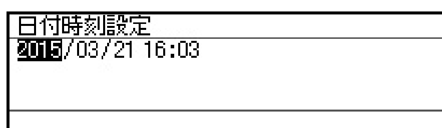
3 **操作パネルの下にあるレバーに指を掛け、手前に引いたまま、見やすい角度に調節します。**

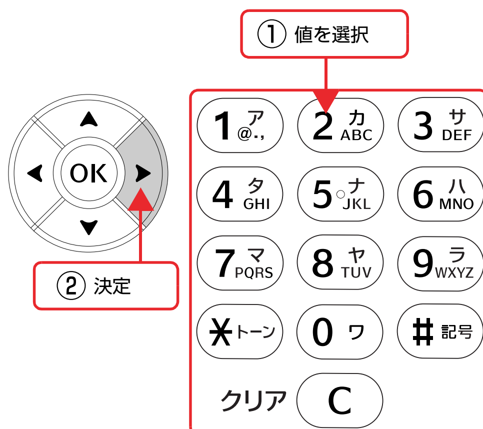
4 段階で調整できます。



4 **操作パネルのテンキーを押して「西暦」を合わせ、[▶] ボタンを押します。**

数字は、[▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して入力することもできます。





5 **テンキーを押して「月」を合わせ、[▶] ボタンを押します。**

6 **テンキーを押して「日」を合わせ、[▶] ボタンを押します。**

7 **テンキーを押して「時」を合わせ、[▶] ボタンを押します。**

8 **テンキーを押して「分」を合わせ、[OK] ボタンを押します。**

コピーモードの画面が表示されたら、設定は終了です。

標準モデル /ADF モデルの場合

ステータスシートを印刷して、本製品が正しく動作するか確認します。

☞ 本書 45 ページ「動作確認」

ファクスモデルの場合

ファクス機能を使用するための基本的な情報を設定します。次ページに進みます。

ファクス機能の初期設定（ファクスモデル）

ここでは、ファクスを送受信するための初期設定の手順を説明します。

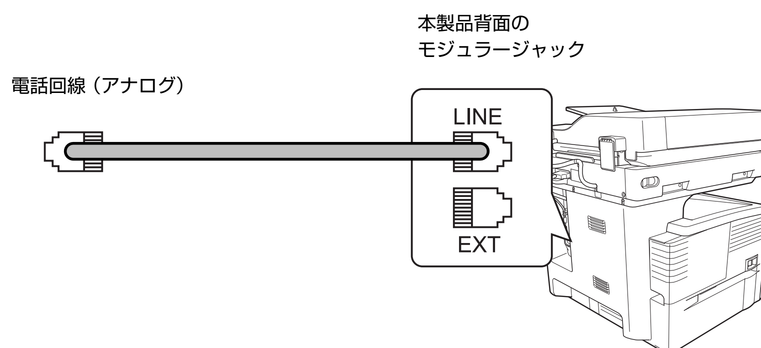
！重要

電話回線との接続は、次の点に注意してください。

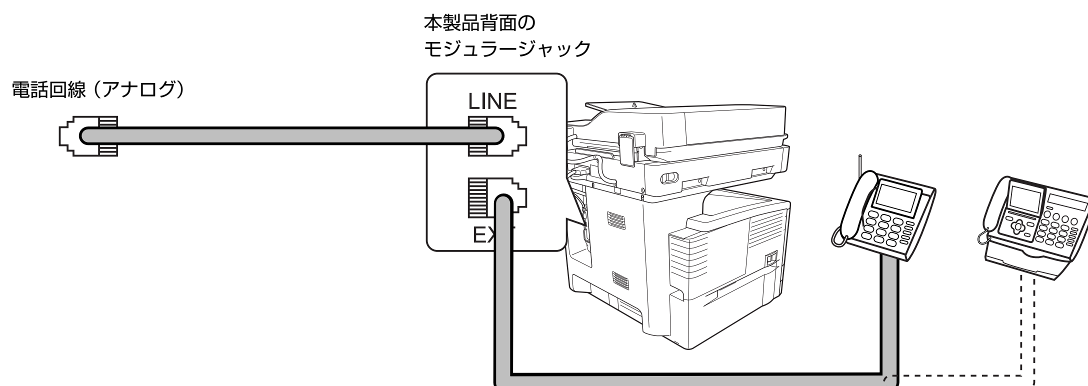
- 接続できる電話回線は、次の通りです。
  - •加入電話回線（PSTN）
  - •自営構内回線（PBX）
- 次の電話回線では正常に動作しない可能性があります。
  - •上記の回線以外（NCC 回線、デジタル回線、F ネットなど）
  - •加入電話回線との間に TA、スプリッタ、ADSL ルータなどの各種アダプタを接続した場合
  - •多機能電話機の場合（留守番電話、外付け電話 /FAX 自動切換えなど）
- 次の電話回線では使用できません。
  - •ADSL や光ファイバー等の IP 電話接続
  - •各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線
  - •その他、電話回線の状況や地域などの条件により、ご使用になれない場合があります。
- 一般の電話機は、市販の電話台などに置いてください。スキャナ部や、プリンタ部の上には置かないでください。

電話回線の接続

- 電話回線を LINE と刻印されたモジュラージャックに接続します。



- 電話回線を本製品および電話機で兼用する場合、電話機は EXT と刻印されたモジュラージャックに接続します。



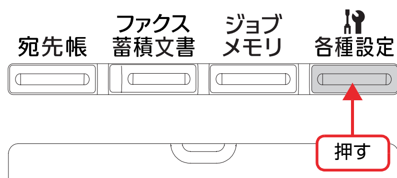
ISDN 回線、ADSL 回線、自営回線（内線電話）での接続イメージは、エプソンのホームページを参照してください（http://www.epson.jp/）。

回線の設定

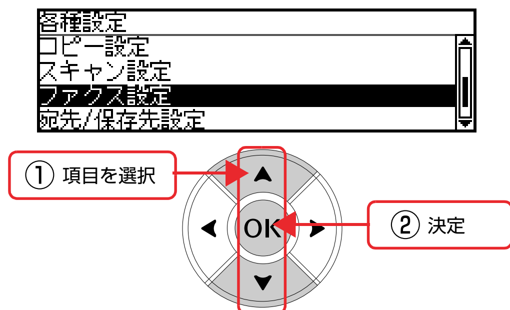
ファクス通信のための回線を設定します。

対応回線の設定

1 **操作パネルの［各種設定］ボタンを押します。**
［各種設定］画面が表示されます。



2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**



3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［基本設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

4 **［回線種別＝ XXXX］（XXXX は設定されている回線種別）を確認します。**

設定	説明
PSTN	Public Switched Telephone Network の略。 ご利用の環境に電話交換機などがない場合は、こちらを選択します。
PBX	Private Branch Exchange の略。 ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合はこちらを選択します。

変更が必要な場合は、次の手順 5 に進みます。
変更の必要がない場合は、次項の「ダイヤル種別の設定」に進みます。

5 **［OK］ボタンを押します。**
ここでは、PSTN から PBX へ設定変更を行う場合を例に説明します。

6 **［▲］または［▼］ボタンを押して［PBX］を選択し、［OK］ボタンを押します。**
［OK］ボタンの押下で、設定が有効になります。

以上で終了です。
次にダイヤル種別を設定します。

ダイヤル種別の設定

1 **［▲］または［▼］ボタンを押して［ダイヤル種別＝ XXXX］（XXXX は設定されているダイヤル種別）を選択します。**

2 **［ダイヤル種別＝ XXXX］（XXXX は設定されているダイヤル種別）を確認します。**

設定	説明
トーン	「ピッポッパッ」という音がするタイプの回線
10PPS/ 20PPS	ダイヤル回線の場合に選択します。 10pps または 20pps どちらを選択するかは、電話利用時の契約内容をご確認ください。

変更が必要な場合は、次の手順 3 に進みます。
変更の必要がない場合は、次項の「自局情報の設定」に進みます。

3 **［OK］ボタンを押します。**
ここでは、プッシュボタン回線から 10PPS/20PPS 回線へ設定変更する場合を例に説明します。

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して［10pps］または［20PPS］を選択し、［OK］ボタンを押します。**
［OK］ボタンの押下で、設定が有効になります。

以上で終了です。
次に自局情報を設定します。

自局情報の設定

設定した自局情報は、送信ファクスに印字されます。

参考
- 2 バイト文字で登録したいときは、EpsonNet Config を使用してください。EpsonNet Config の使い方は、以下を参照してください。
  ☞『取扱説明書 5 ネットワーク編』（電子マニュアル）－「ネットワークインターフェイスの設定」
- 送信ファクスに自局番号や発信者名を表示させたくない場合は、操作パネルの［各種設定］ボタン－［ファクス設定］-［送信設定］－［発信元記録］を［しない］に設定します。
  ☞『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「ファクス（ファクスモデルのみ）」－「ファクスを使う前に」

1 **［▲］または［▼］ボタンを押して［自局情報］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［名称］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **テンキーを押して自局名称を入力し、［OK］ボタンを押します。**

［F4］ボタンを押すと、英・数・カナの入力モードが切り替わります。

入力を間違えたときは［クリア］ボタンを押して消去し、入力し直します。

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して［番号］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

5 **テンキーを押して、自局番号を入力して、［OK］ボタンを押します。**

［＊］キーを押すと「+」、［#］キーを押すとスペースを入力することができます。

入力を間違えたときは［クリア］ボタンを押して消去し、入力し直します。

6 **番号の入力が終わったら、いずれかのモードボタンを押します。**

操作パネルの表示は、押したモードボタンの画面になります。

以上で終了です。

次にステータスシートを印刷して、本製品が正しく動作するか確認します。

ファクスの宛先登録は、以下を参照してください。

☞『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「宛先 / 保存先の登録方法」

動作確認

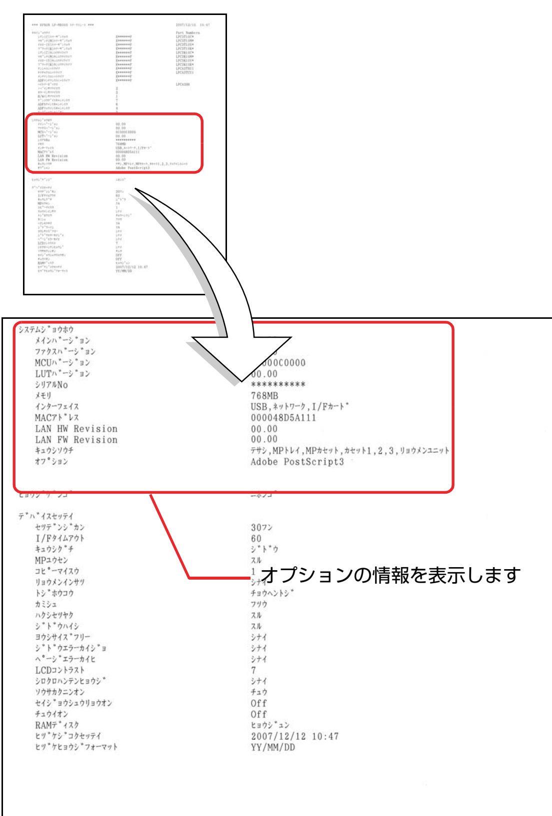
正しくセットアップできたかの確認手順を説明します。

ステータスシートの印刷

ここでは、本製品の印刷機能が正常に機能しているか、また取り付けたオプションが認識されているかどうかを確かめるためのステータスシートの印刷と確認方法を説明します。

1. **操作パネルの［各種設定］ボタンを押します。**
   ［各種設定］画面が表示されます。
2. **［▲］または［▼］ボタンを押して［システム情報］を選択し、［OK］ボタンを押します。**
3. **［▲］または［▼］ボタンを押して［レポート印刷］を選択し、［OK］ボタンを押します。**
4. **［▲］または［▼］ボタンを押して［ステータスシート］を選択し、［OK］ボタンを押します。**
   データランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます。
5. **ステータスシートが印刷されたか確認します。**
   次のようなステータスシートが印刷できれば、本製品の印刷機能は正常に機能しています。

ステータスシート



増設メモリを装着している場合
［システムジョウホウ］の［メモリ］の項目に、標準搭載メモリ（標準モデル：256MB、ADF/ ファクスモデル：512MB）と増設したメモリ容量の合計値が表示されていれば、正しく認識されています。

増設カセットを装着している場合
［システムジョウホウ］の［キュウシソウチ］の項目に、［カセット 2］～［カセット 4］が表示されていれば、正しく認識されています。

MP トレイを装着している場合
［システムジョウホウ］の［キュウシソウチ］の項目に、［MP トレイ］が表示されていれば、正しく認識されています。

インターフェイスカードを装着している場合
［システムジョウホウ］の［インターフェイス］の項目に、［ネットワーク］、［I/F カード］が表示されていれば、正しく認識されています。

ROM モジュールを装着している場合
［システムジョウホウ］の［オプション］の項目に、装着した ROM モジュールが表示されていれば、正しく認識されています。
PDF 拡張キットを装着している場合は、［システムジョウホウ］の［オプション］の項目に、［Adobe PostScript3］が表示されていれば、正しく認識されています。

以上で終了です。

続いて、スキャナ機能の確認をします。

ステータスシートのコピー

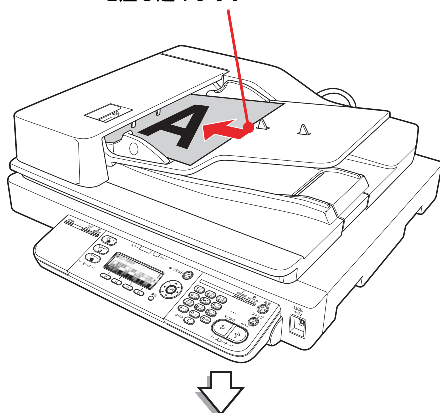
ここでは、本製品のコピー機能が正常に機能しているか、先ほど印刷したステータスシートをコピーして確認する方法を説明します。

1 **前項で印刷したステータスシートを 1 枚セットします。**

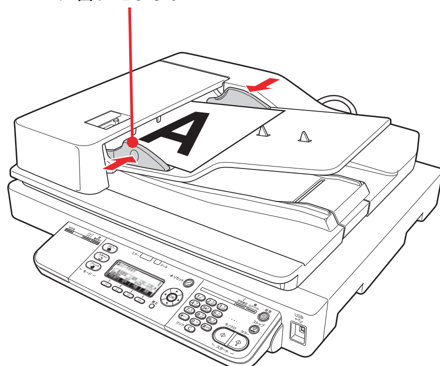
ADF/ ファクスモデルは、「ADF での確認」と「原稿台での確認」を実施してください。

ADF(オートドキュメントフィーダ)での確認

①オートドキュメントフィーダに、取り込む面（印刷面）を上にしてステータスシートを差し込みます。



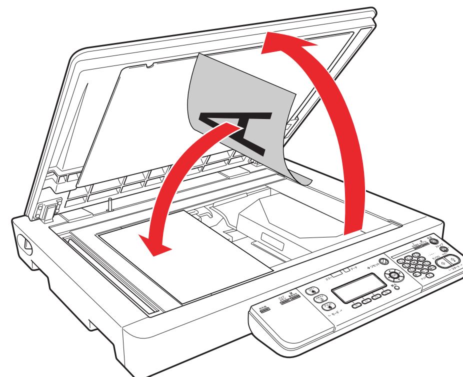
②用紙ガイドをステータスシートの側面に合わせます。



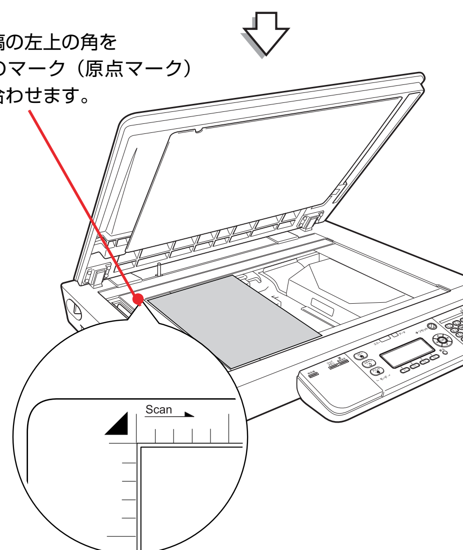
原稿台での確認

①原稿カバーを開けます。

②取り込む面（印刷面）を下にして、ステータスシートをセットします。



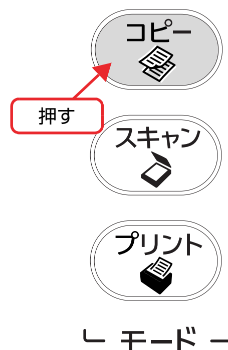
原稿の左上の角をこのマーク（原点マーク）に合わせます。



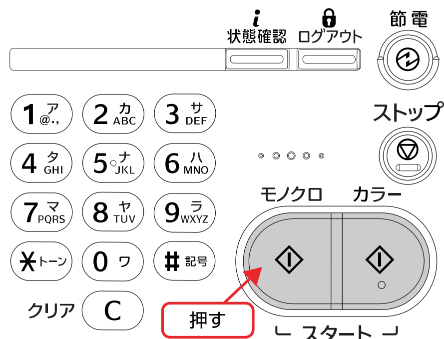
③原稿カバーを閉じます。

2 **［コピー］ボタンを押して、コピーモードに切り替えます。**

［コピーモード］画面が表示されます。

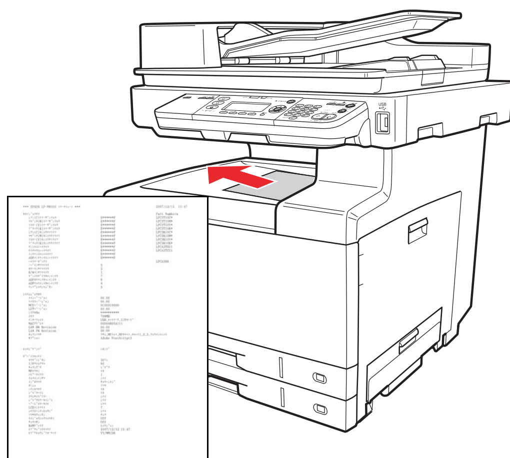


3 ［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。



4 排紙トレイにコピー結果が出力されるか確認します。

正常にコピーされていれば、本製品のスキャナ機能は正常に動作しています。



5 セットしたステータスシートを取り除きます。

以上で本製品のセットアップはすべて終了です。

本製品をコンピュータと接続して使用する場合は、以下のページに進んでください。

USB 接続の場合：

本書 48 ページ「ローカル（直接）接続」

ネットワーク接続の場合：

本書 52 ページ「ネットワーク（LAN）接続」

すぐにコピー / ファクス / スキャン機能を使用する場合は、以下を参照してください。

コピー機能：

『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「コピー」

ファクス機能：

『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「ファクス（ファクスモデルのみ）」

スキャン機能：

『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「スキャン」

コンピュータの接続と設定

本製品とコンピュータをケーブルで接続し、プリンタドライバなどのソフトウェアのインストールと設定をします。本書に記載されていないOSについては、エプソンのホームページでご確認ください（http://www.epson.jp/）。

Windows環境では、「EPSONステータスモニタ」をインストールしないと取り付けたオプション情報が認識されません。「EPSONステータスモニタ」は同梱の『ソフトウェアCD-ROM』に収録されており、「おすすめインストール」を選択するとプリンタドライバとセットでインストールされます。個別にインストールするときは、カスタムインストールを選択してください。



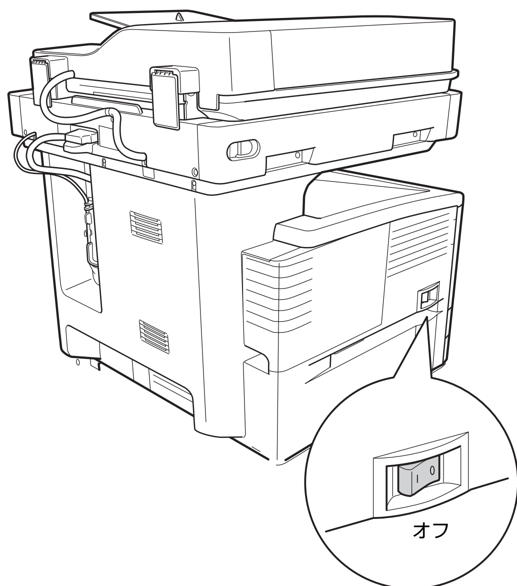
インストールが終了すると「MyEPSON」のショートカットやエイリアスがデスクトップ上に作成され、ここからユーザー登録ができます。

ローカル(直接)接続

USBケーブルで本製品とコンピュータをローカル(直接)接続します。ケーブルは本製品に同梱されていませんので、以下を参照して用意してください。

『取扱説明書2　使い方編』(冊子)「消耗品/オプション/定期交換部品一覧」

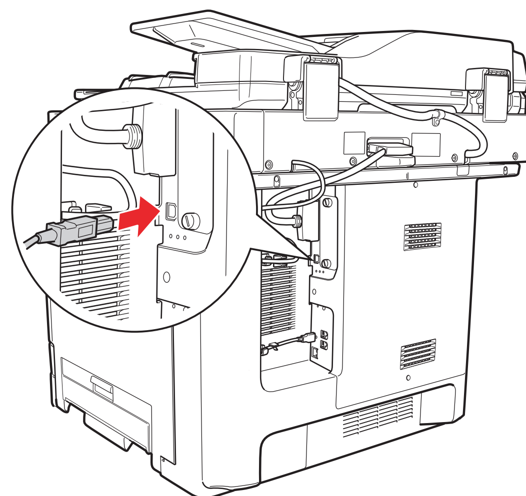
1　本製品の電源が切れていることを確認します。



2　コネクタの向きに注意して、本製品とコンピュータにUSBケーブルを接続します。



USBケーブルをネットワークインターフェイスコネクタに接続しないでください。本製品とUSBケーブル双方のコネクタが破損するおそれがあります。



続いて、以下のページに進んでください。

Windowsの場合

本書49ページ「Windowsの場合」

Mac OS Xの場合

本書50ページ「Mac OS Xの場合」

Windows の場合

！重要

管理者権限のあるユーザーでログオンし、インストールしてください。

2 に続いて以下の作業を行ってください。

1 Windowsを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットします。

Windows Vista:

① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリックします。

② ［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックします。

Windows Vista 以外:

2 に進みます。

2 モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。

3 ［おすすめインストール］をクリックします。

再インストールなどで個別にソフトウェアをインストールする場合は、［カスタムインストール］をクリックします。



4 ［ローカル（直接）接続］をクリックします。



5 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

オプションを取り付けた場合は 6 に進んでください。

6 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista:

［ ］ー［コントロールパネル］ー［プリンタ］の順にクリックします。

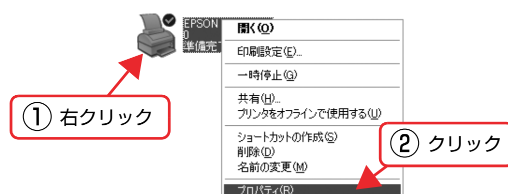
Windows XP/Windows Server 2003:

［スタート］ー［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000:

［スタート］ー［設定］ー［プリンタ］をクリックします。

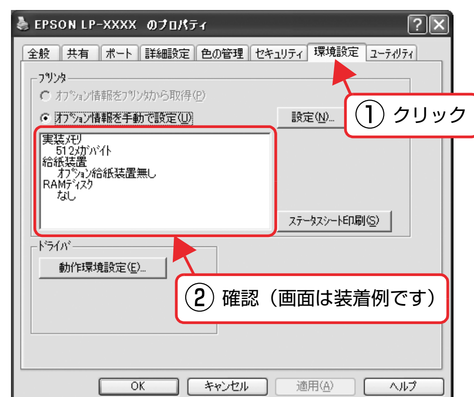
7 本製品のアイコンを右クリックして、プロパティをクリックします。



8 ［環境設定］タブをクリックし、装着したオプションを確認します。

取り付けたオプションが表示されないときは、以下を参照して手動設定してください。

☞ 本書 32 ページ「プリンタドライバでオプション設定」



9 ［OK］をクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。

以上で終了です。

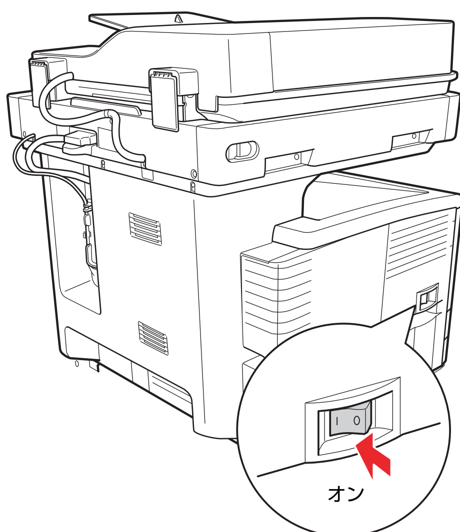
Mac OS X の場合

!重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンし、インストールしてください。
- 標準HFS+形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。UNIX ファイルシステム（UFS）形式のドライブにはインストールできません。意図してドライブを UFS 形式に初期化し直していない一般の Mac OS X ユーザーの方は問題なくインストールできます。
- Mac OS X v10.3以降では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータにログインできます（ファストユーザスイッチまたはファーストユーザスイッチ機能）。EPSONScan はファストユーザスイッチ（ファーストユーザスイッチ）機能には対応しておりませんので、インストールおよび使用時にはファストユーザスイッチ（ファーストユーザスイッチ）機能をオフにしてください。また、ソフトウェアをインストールするときは、コンピュータの管理者だけがログインした状態で行ってください。

48 ページの 2 に続いて以下の作業してください。

1 本製品の電源を入れます。



2 Mac OS X を起動して『ソフトウェア CD-ROM』をセットし、デスクトップの［EPSON］のアイコンをダブルクリックします。



3 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。



4 モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。

5 ［おすすめインストール］をクリックします。

再インストールなどで個別にソフトウェアをインストールする場合は、［カスタムインストール］をクリックします。



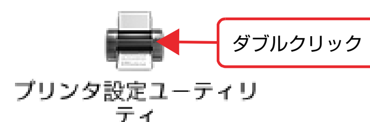
6 ［ローカル（直接）接続］をクリックします。



7 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

10 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。



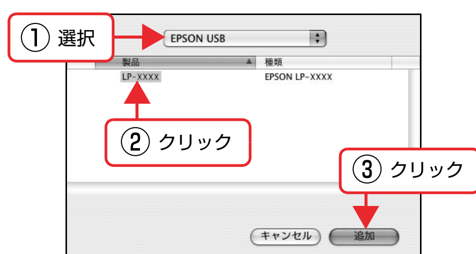
11 ［追加］をクリックします。



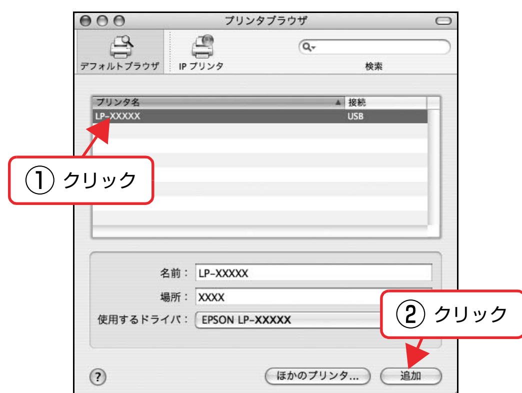
使用可能なプリンタがないときは、追加を促す画面が表示されます。［追加］をクリックすると 12 の画面が表示されます。

12 本製品を選択し、［追加］をクリックします。

Mac OS X v10.3：
［EPSON USB］または［USB］を選択してから本製品を選択し、［追加］をクリックします。



Mac OS X v10.4：
本製品を選択し、［追加］をクリックします。



13 本製品が追加されたことを確認し、画面を閉じます。



以上で終了です。

ネットワーク(LAN)接続

LAN ケーブルを使って、本製品をネットワーク環境に接続します。

このセットアップ手順は同一セグメント内のネットワークプリンタに接続する方法です。

別セグメントのネットワークプリンタを探索するには、同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から EpsonNet Config をインストールして使用してください。

☞『取扱説明書 5 ネットワーク編』（電子マニュアル）

LAN ケーブルは本製品に同梱されていませんので、以下のケーブルを用意してください。

市販の LAN ケーブル

- シールドツイストペアケーブル（カテゴリ5以上）
- 10Base-T または 100Base-TX

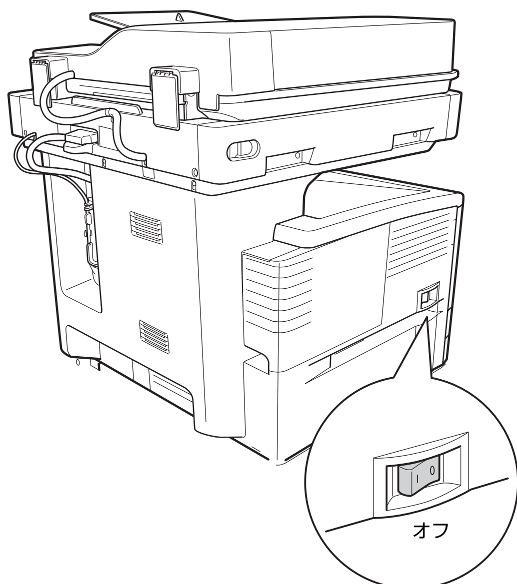
ここでは、本製品に添付されているソフトウェアを使用して IP アドレスを設定する方法を説明します。これ以外の設定方法や、ネットワーク設定に関するそのほかの詳細情報は以下を参照してください。

☞『取扱説明書 5　ネットワーク編』（電子マニュアル）

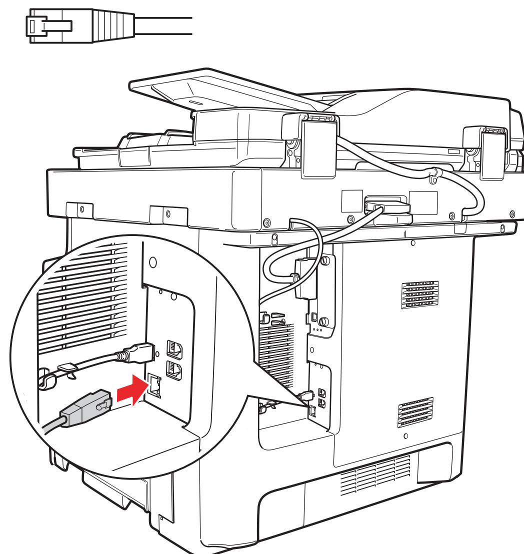
操作パネルで IP アドレスを設定する方法は、以下を参照してください。

☞『取扱説明書 2　使い方編（冊子）』－「IP アドレスを操作パネルから設定」

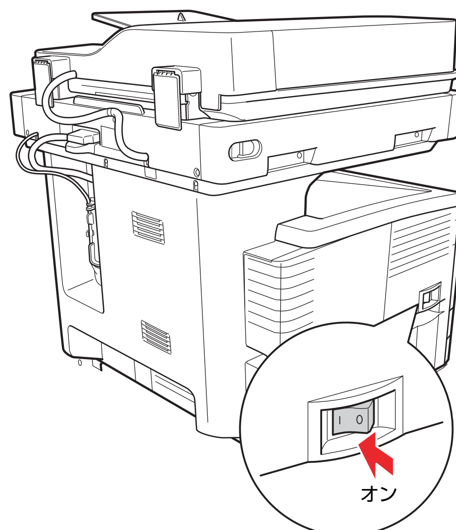
1 **本製品の電源が切れていることを確認します。**



2 **LAN ケーブルを接続します。**



3 **電源を入れます。**



続いて、以下のページに進んでください。

Windows の場合

☞ 本書 53 ページ「Windows の場合」

Mac OS X の場合

☞ 本書 54 ページ「Mac OS X の場合」

Windows の場合

3 に続いて以下の作業を行ってください。

1 **Windowsを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットします。**

Windows Vista:

① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリックします。

② ［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックします。

Windows Vista 以外:

2 に進みます。

2 **モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。**

3 **［おすすめインストール］をクリックします。**



4 **［ネットワーク（LAN）接続］をクリックします。**



5 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

> **参考**
>
> - 以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。
>
> 
>
>
> - 市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアの取扱説明書を参照して、一時的に通信を許可してください。

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

オプションを取り付けた場合は 6 に進んでください。

6 **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

Windows Vista:

［ ］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

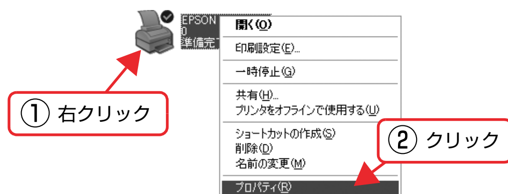
Windows XP/Windows Server 2003:

［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000:

［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

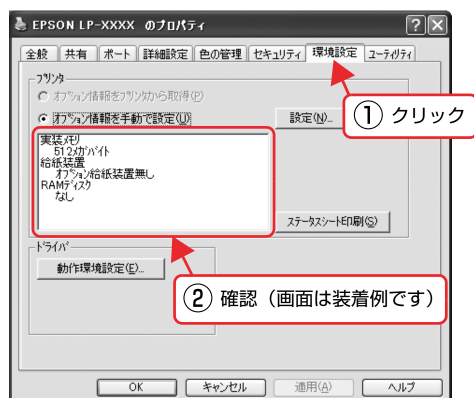
7 **本製品のアイコンを右クリックして、プロパティをクリックします。**



8 ［環境設定］タブをクリックし、装着したオプションを確認します。

取り付けたオプションが表示されないときは、以下を参照して手動設定してください。

☞ 本書 32 ページ「プリンタドライバでオプション設定」



9 ［OK］をクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

52 ページの 3 に続いて以下の作業を行ってください。

1 Mac OS Xを起動して『ソフトウェアCD-ROM』をセットし、デスクトップの［EPSON］のアイコンをダブルクリックします。



2 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。



3 モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。

4 ［おすすめインストール］をクリックします。



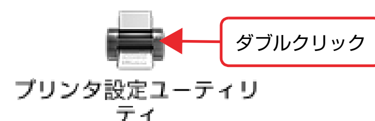
5 ［ネットワーク（LAN）接続］をクリックします。



6 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

7 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。



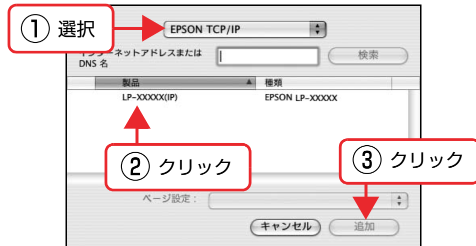
8 ［追加］をクリックします。



使用可能なプリンタがないときは、追加を促す画面が表示されます。［追加］をクリックすると 9 の画面が表示されます。

9 **本製品を選択し、［追加］をクリックします。**

Mac OS X v10.3：
［EPSON TCP/IP］を選択してから本製品を選択します。他のプロトコルを設定する方法は以下を参照してください。
☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）



Mac OS X v10.4：
最初の画面で［ほかのプリンタ］をクリックします。次の画面で［EPSON TCP/IP］を選択してから本製品を選択します。



10 **本製品が追加されたことを確認し、画面を閉じます。**



以上で終了です。

困ったときは

セットアップがうまくできないときの対処方法を記載しています。
セットアップ時以外でトラブルが発生したときの対処方法は、『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）を参照してください。

電源が入らない

電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源コードを本製品とコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチを入れます。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンタ部とスキャナ部をケーブルで接続していますか？

プリンタ部背面とスキャナ部背面のコネクタがケーブルで接続されていることを確認してください。接続されていないときは、ケーブルの取り付け方向に注意して接続してください。
☞本書 38 ページ「ケーブル類」

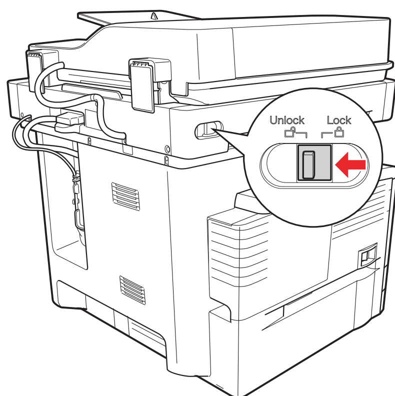
正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

エラーが表示される

「スキャナのロックを解除してください」と表示されていませんか？

スキャナ部左側面の輸送用固定レバーが解除されていません。輸送用固定レバーを解除して、電源を入れ直してください。



その他のエラーが表示されている場合は、『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）を参照して対処してください。

『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）の「困ったときは」－「パネルメッセージ」では、操作パネルのメッセージとその内容、対処方法を説明しています。

ドライバがインストールできない（USB 接続）

Mac OS X をご使用の場合に、UNIX ファイルシステム（UFS）形式でフォーマットしたドライブにソフトウェアをインストールしていませんか？

Mac OS X をインストールする際に、ドライブのフォーマット形式を Mac OS 拡張（HFS+）形式または UNIX ファイルシステム（UFS）形式から選択することができます。本製品用のプリンタドライバは、UFS 形式でフォーマットしたドライブでは使うことができませんので、HFS+ 形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。

CD-ROM の Autorun 機能が働いていない可能性があります。

CD-ROM ドライブの CD アイコンをダブルクリックするか、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［EPSETUP.EXE］をダブルクリックすることで、セットアップ画面が表示されます。

ネットワークの設定 / 印刷 / スキャンができない



LAN ケーブルが確実に差し込まれていますか？

本製品のコネクタとコンピュータまたはハブ側のコネクタに LAN ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えて確認してください。



ハブは正常に動作していますか？

ハブのポートのリンクランプが点灯/点滅しているか確認してください。

リンクランプが消灯している場合は、他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか確認してください。

他のポートに接続してもリンクランプが消灯している場合は、ハブの電源が入っていないかハブが故障している可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。

設定する IP アドレスがわからない



ネットワーク管理者へご相談ください。

外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う場合は、JPNIC（http://www.nic.ad.jp）に申請を行って、IP アドレスを正式に取得する必要があるので、ネットワーク管理者へご相談ください。

IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件の下に、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918 で規定されています）。

プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まず本製品の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。



操作パネルでステータスシートの印刷とコピーができますか？

本書 45 ページ「動作確認」

できる　　　　できない






エプソンのホームページで調べてみる

http://www.epson.jp/
［サポート］－［よくあるご質問系］






エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は本書の巻末に記載されています。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本製品の名称や製造番号などをご確認の上、ご連絡ください。



故障している可能性があります。

- 保守契約をされている場合は、保守契約店にご相談ください。
- 保守契約をされていない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンサービスコールセンターへ修理をご依頼ください。依頼先は、本書巻末に記載されています。
  保守サービスのご案内は、『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「保守サービスのご案内」をご覧ください。



本製品の製造番号は『取扱説明書 2　使い方編』（冊子）「総合仕様」-「製造番号の表示位置」を参照してご確認ください。

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、次のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています（http://www.epson.jp/）。

Memo

Memo

EPSON LP-M6000シリーズ 取扱説明書1 セットアップ編

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660 ・東京修理センター：042-584-8070 ・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 050-3155-7150 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(LP) 2007. 12


411145200